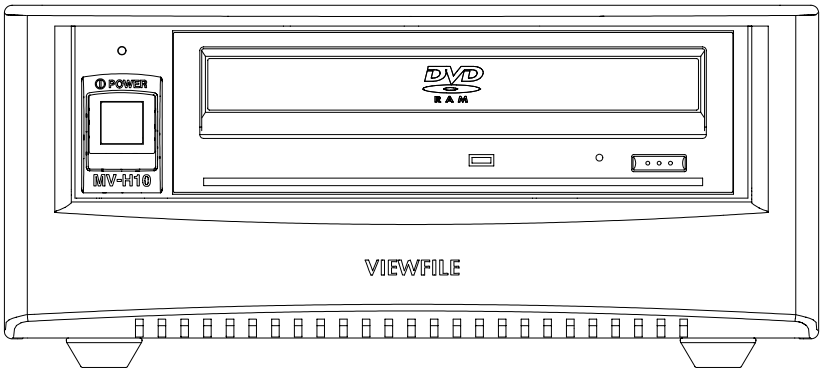
TEAC

DVD-RAM カラー静止画レコーダ

MV-H10
MV-S10
MV-D10

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。



※図は MV-H10 です

本体に表示している記号について

前面

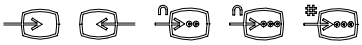
電源を入／切するためのスイッチです。

背面

～IN　本体に電源を供給するためのコネクタです。
付属の電源コードを接続してください。

等電位化端子です。DIN 42801 に従ったコネクタをもつ等電位化ケーブルを接続してください。

ネットワークに接続するためのコネクタです。



映像信号を入力するためのコネクタです。

映像信号を出力するためのコネクタです。

この表示のあるコネクタは静電気により内部が破損する可能性があります。コネクタの接点部に素手で触れないようご注意下さい。

安全にお使いいただくために

警告　これらを無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

異常が起きたら

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して当社サービス部門に修理をご依頼ください。

水にぬらさない

この機器を水にぬらさないでください。また、花びんや水などの入った容器をこの機器の上に置かないでください。内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。内部に水が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社サービス部門にご連絡ください。

内部に異物を入れない

この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となります。

交流 100 ボルト以外の電源で使用しない

交流 100V 以外の電源で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

カバーを開けない

この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は当社サービス部門にご依頼ください。

改造しない

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注意　これらを無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、および物的損害の発生が想定されます。

適さない設置場所

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
・ 湿気やほこりの多い場所
・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
・ 直射日光があたる場所
・ 振動が激しい場所

機器はコンセントの近くに設置する

機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

接続前の注意

他の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明書にしたがって接続してください。また、接続には所定のコードを使用してください。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

上に物を置かない

この機器の上に物を置かないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。また、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

指をはさまれないように注意

ディスクトレイが閉まるときに手指をはさまれないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

内部をのぞき込まない

ディスクドライブのシャッタのすきまから内部をのぞき込まないでください。内部のレーザ光源を直視すると、視力障害を起こすおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグにさわると、感電の原因となることがあります。

電源コードを持って抜かない

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。電源コードを抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

移動させるときは

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから移動してください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

お手入れのさいは

安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

長期間ご使用にならないときは

長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

１年に１度ぐらいは点検をご相談ください

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

ご使用の前に

お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

製 品 構 成

MV-H10 または MV-S10 または MV-D10 本体	1 台
リモートコントロールユニット（VS-430）	1 台
RGB ケーブル（D-sub ・ BNC）	2 本
RGB ケーブル（D-sub ・ D-sub）[MV-S10]	2 本
DVI ケーブル [MV-D10]	1 本
S-VIDEO ケーブル	2 本
BNC ケーブル	2 本
DVD-RAM ディスク	1 枚
電源ケーブル	1 本
ディスクイジェクトピン	1 本
取扱説明書（本書）	1 冊
ViewFile Lite CD-ROM	1 枚
ViewFile Lite 取扱説明書	1 冊

おことわり

特に注意書きがない場合、「**ディスク**」という記述は DVD-RAM のことを指します。

●本書に記載の各会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

DVD-RAM について

使用できる DVD-RAM

本機で使用できる DVD-RAM はつぎの 2 種類です。これら以外のメディアには記録できません。

- 4.7GB DVD-RAM カートリッジタイプ
- 9.4GB DVD-RAM カートリッジタイプ（両面）

フォーマットは本機で

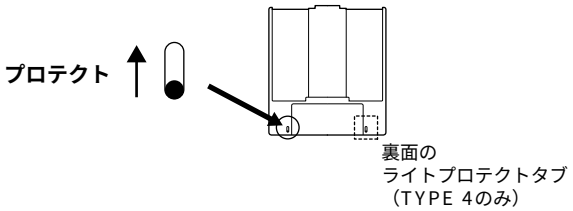
本機で使用する DVD-RAM は録画前に本機でフォーマットしてください。パソコンでフォーマットした場合や、買いたてのままでは録画できません。（付属の DVD-RAM はフォーマットしてありません。使用前にフォーマットしてください。）

カートリッジから取り出さない

DVD-RAM はカートリッジから中のディスク本体を取り出すことができますが、本機で使用する場合は取り出さないでください。

パソコンに入れるときは書き込み禁止に

本機で記録した DVD-RAM をパソコンのドライブに入れる場合は、DVD-RAM に付属の取扱説明書にしたがって、「プロテクトノッチ」を書き込み禁止の方に切り替えてください。



やむをえずカートリッジから中のディスクを取り出してパソコンのドライブに入れる場合は書き込みを禁止できません。書き込まないようにご注意ください。パソコンが勝手に書き込むこともあります。もし書き込んでしまった場合、その DVD-RAM に記録済みのデータは保証できません。

移動するときは DVD-RAM を取り出して

DVD-RAM を挿入したまま本機を持ち運ぶと故障の原因になります。DVD-RAM を取り出してから移動してください。

●DVD-RAM の取り扱い、保管については DVD-RAM に付属の取扱説明書をお読みください。

●本機以外の装置で記録した DVD や、市販の DVD ビデオソフトを本機で再生することはできません。また、本機で記録した DVD-RAM を本機以外の DVD プレーヤで再生することはできません。

使用上の注意

使用環境
確実な動作のために下記の環境のもとでご使用ください。
・温度：5 ～ 35 ℃
・湿度：30 ～ 80%RH（非結露）
最大湿球温度 29 ℃以下

水平に、振動を避けて
本製品はゴム足を下にして水平に設置してください。

他の機器を上に置かない
本製品の上に他の機器を置かないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

通風孔をふさがない
本製品背面の冷却ファンの吹き出し口、および本体前面の通風孔をふさがないでください。ふさぐと内部に熱がこもり、故障の原因となります。

つぎのような場所で使わない
・急激な温度変化のあるところ
・直射日光があたるところ
・振動のあるところ
・熱源の近く
・湿度の高いところ
・ほこりや油煙があるところ
・引火性のガスのあるところ
つぎのような場所で使うと誤動作等の原因となることがありますので、避けてください。
・高周波を発生する機器の近く
・強力な磁気、静電気のあるところ

録画中電源を切らない
録画中および画像転送中など、ディスクアクセス中に電源を切らないでください。もし切ると、少なくともその時に録画していた画像は記録されません。最悪の場合は他の画像も再生できなくなることがあります。

内蔵電池は 5 年で交換する
本機は内蔵の時計を動かすための電池をもっています。この電池が切れて時計がくるうと、画像データの管理が正常にできなくなります。寿命が来る前に 5 年ごとに交換することをおすすめします。交換はお客様にはできませんので、弊社サービス部門にご依頼ください。

付属のリモコンを使用する
他の機器に付属のリモコンを本機につないで使用しないでください。

ディスクのラベルをしっかりと貼る
本機にディスクを挿入する前に、ディスクに貼ったラベルに剥がれがないことを確認してください。ラベルの剥がれかかったディスクを挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、ドライブの故障の原因となることがあります。
万が一、イジェクトキーを押してもディスクを取り出せなくなった場合は、付属のディスクイジェクトピンをディスク挿入口の下の穴に差し込むことにより取り出すことができます。

付属ソフト“ DVFinder ”について

本製品には録画した DVD-RAM を PC の DVD-RAM ドライブで検索するための Windows アプリケーション“ DVFinder ”が付属しています。通常のアプリケーションはハードディスクにインストールして使いますが、このソフトはそれとは異なり、本製品で DVD-RAM をフォーマットすると自動的に DVD-RAM ごとに書き込まれるようになっています。

このソフトウエアは、お客様が以下のソフトウエア使用契約の条件に同意されることを前提として、ティアック株式会社（以下、弊社といいます）よりご使用を許諾するものです。万一、同意いただけない場合は、製品一式を購入店へご返却ください。購入代金を返金させていただきます。お客様が以下のソフトウエア使用契約の条件に違反されますと、弊社の権利を侵害することになり、以降のご使用の停止、また、損害賠償等の請求対象となりますことをご承知おきください。

ソフトウエア使用契約

1. 本契約は、お客様が本製品で DVD-RAM を初めてフォーマットしたときから発効します。同意いただけない場合は、フォーマットしないでください。

2. お客様が本ソフトウエアを取得されたことは、本ソフトウエア契約に規定された以外に本ソフトウエアのいかなる権利、権原若しくは利権の取得を意味するものではありません。お客様は、本ソフトウエアが弊社に帰属する著作物として、「万国著作権条約」または「文学的および美術的著作物保護に関するベルヌ条約」の加盟国の著作権法に基づき保護されることをご認識ください。本ソフトウエアの著作権は、弊社に帰属しております。

3.(1)　お客様は、本ソフトウエアをバックアップ以外の用途で複製することはできません。
(2)　お客様は、本ソフトウエアを解析したり、コンパイラ言語やアセンブラ言語に変換することはできません。
(3)　お客様は、本ソフトウエアを弊社の事前承諾なく、第三者に譲渡することはできません。

4. 弊社は、本ソフトウエアが所定の環境下において、弊社が明示した動作をすることは確認しておりますが、本ソフトウエアが、お客様の特定の使用目的に適合するか否か、また、本ソフトウエアの動作が中断しないことや誤りのないことを保証するものではありません。

5. 弊社は、本ソフトウエアの使用や使用不能から生じたいかなる損害（事業上の損失、営業の中断、営業上の情報の損失、その他の金銭上の損害など）についても責任を負いません。たとえその損害の可能性が弊社に事前に知らされていたとしても同様です。

上記契約に関してご不明な点などがございましたら弊社にお問い合わせください。

もくじ

本体に表示している記号について 2
安全にお使いいただくために 2
ご使用の前に 4
DVD-RAM について 4
使用上の注意 5
もくじ 6
特長 7
画像ファイルについて 8

各部のなまえ 9
前面 9
背面 10
リモコン 12

電源を入れる前の準備 13
接続する 13

使ってみましょう 15
電源を入れる 15
ディスクを入れる 15
フォーマットする 16
ディスクを交換する 18
電源を切る 18
基本的な操作フロー 19

記録前の準備 20
入力信号の選択 20
画質の設定 20
磁気カードリーダ／バーコードリーダの設定 20
ディスクフォーマット 20

記録する 21
記録する 21

記録のとき便利な機能 22
フリーズ 22
直前にとった画像を見る 22

再生する 23
全検索 24
ID サーチ 25
日付サーチ 26
インデックス再生 27
画像再生中の操作 28
再生のとき便利な機能 29
再生中の患者情報を変更する 29
HD 画像を NTSC 信号に変換し出力する（MV-S10 を除く） ... 29

転送する 30
すべての画像ファイルを転送する 30
指定の画像ファイルを転送する 30
眼底カメラ同期機能 31
眼底同期設定にする 31
アクションモードを選択する 31
眼底カメラ同期ケーブルを接続する 31
記録する 31
眼底タイマー機能 31
PC で画像を表示する 32

設定のしかた 33
メニュー項目一覧 35
入力信号に関わる設定 36
システム設定 1 37
システム設定 2 39
HD 設定（MV-H10 のみ） 41
ネットワーク 43
転送設定 45
カード バーコード 47
眼底設定 49
フォーマットの操作 50

文字の入力のしかた 51
VP-4400/EPX-2200 と接続する 52
ブザー仕様 53

メンテナンスと保証 54
エラー（ERROR）表示がでたら 54
点検のすすめ 55
本体、リモコンのクリーニング 55
故障かなと思ったら 55
保証について 56
廃棄するときは 56

付録 57
仕様 57
コネクタのピン配列 58

特長

本機は DVD-RAM を媒体として、テレビジョン信号、またはHD 信号を記録・再生する装置です。画像圧縮技術JPEG を採用し、最大で約 40,000 枚の画像を記録することができます。

■ 記録画像が劣化しません。

ディジタル方式で記録しますので、何度再生しても記録されている画像は劣化しません。

■ 4 種類の信号を入力できます。

RGB ・コンポジット (VIDEO)・ S-VIDEO ・ HD(MV-H10)・ DVI(MV-D10)の入力信号に対応しています。

■ 4 種類の圧縮モードを選べます。

EQ ・ SQ ・ HQ ・ TF(MV-S10 を除く)の 4 種類の圧縮モードがあります。下表を参照ください。

■ 便利なデータ管理情報を付加します。

画像データにつぎのような情報を付け加えて記録します。これらの情報を手がかりにして画像をすばやく検索することができます。

- ・日付：　記録した年月日
- ・ ID ：　32 文字までの英数字
- ・名前：　32 文字までの英数字
- ・生年月日：12 文字までの英数字
- ・性別：　1 文字の英数字

■ インデックス表示ができます。

１つの画面に９枚の画像を表示して、その中から見たい画像を選ぶことができます。

■ そのままパソコンで表示できます。

画像データを UDF1.5 フォーマットで記録しますので、ディスクをパソコンの DVD-RAM ドライブに入れて読み込めます。

パソコンのドライブに入れる場合は、DVD-RAM に付属の取扱説明書にしたがって、「プロテクトノッチ」を書き込み禁止の方に切り替えてください。

■ パソコンで歪みなく表示できます。

画素が正方形になるように記録しますので、画像データをパソコンで表示したときに歪みがありません。

■ ３種類の信号を出力できます。（NTSC 入出力）

RGB ・コンポジット (VIDEO)・ S-VIDEO の３種類の信号を同時に出力します。

■ 画像データを消去して再び記録できます。

再フォーマットすることによりディスク上のデータをすべて消去し、そこに再び記録することができます。

■ その他の便利な機能

- ・画像を１枚ずつ順に再生できます。
- ・記録順に自動的にコマ送りできます。
- ・フォーマット時にディスク１枚ずつにボリュームラベルをつけられます。

■ 医用機器規格 JIST0601-1:1999 により評価されています。

圧縮モードと記録枚数

圧縮モード	記録枚数 *	非圧縮画像との比較	平均圧縮率（参考）
EQ 大 容 量	約 40,000 枚	区別はやや困難	1/10
SQ 標準画質	約 20,000 枚	区別は困難	1/5
HQ 高 画 質	約 12,000 枚	区別は困難	1/3
TF 非 圧 縮 (MV-S10 を除く)	約　4,000 枚	－	1/1

● 本表の圧縮率・記録枚数は参考値です。実際の圧縮率は記録する画像の内容により変化し、記録枚数も変わります。

* 4.7 GB の場合の記録枚数

* 640 × 480 サイズの画像

画像ファイルについて

本機では［検査開始］キーを押してから［検査終了］キーを押すまでを「検査」と定義します。１つの検査に対して１つの「検査フォルダ」（2 階層目のフォルダ）が作られます。この検査フォルダに、それぞれの「検査」の間に録画した一連の画像ファイルが格納されます。

ディスクあたりの最大検査数：　9999
（4.7GB DVD-RAM の場合。9.4GB では片面で）
１検査あたりの最大ファイル数：500

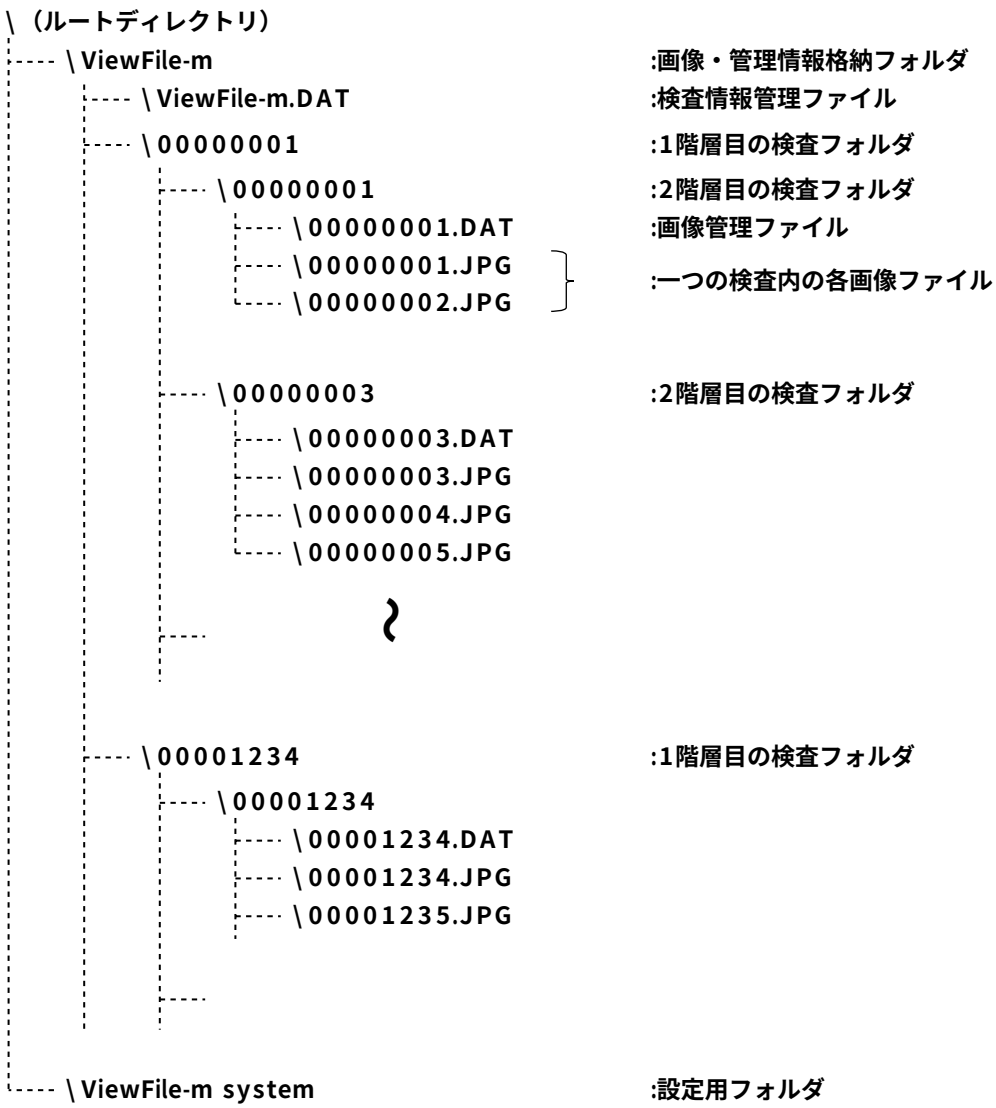
ディスクの中のファイル構造は下図のようになります。

画像ファイル名

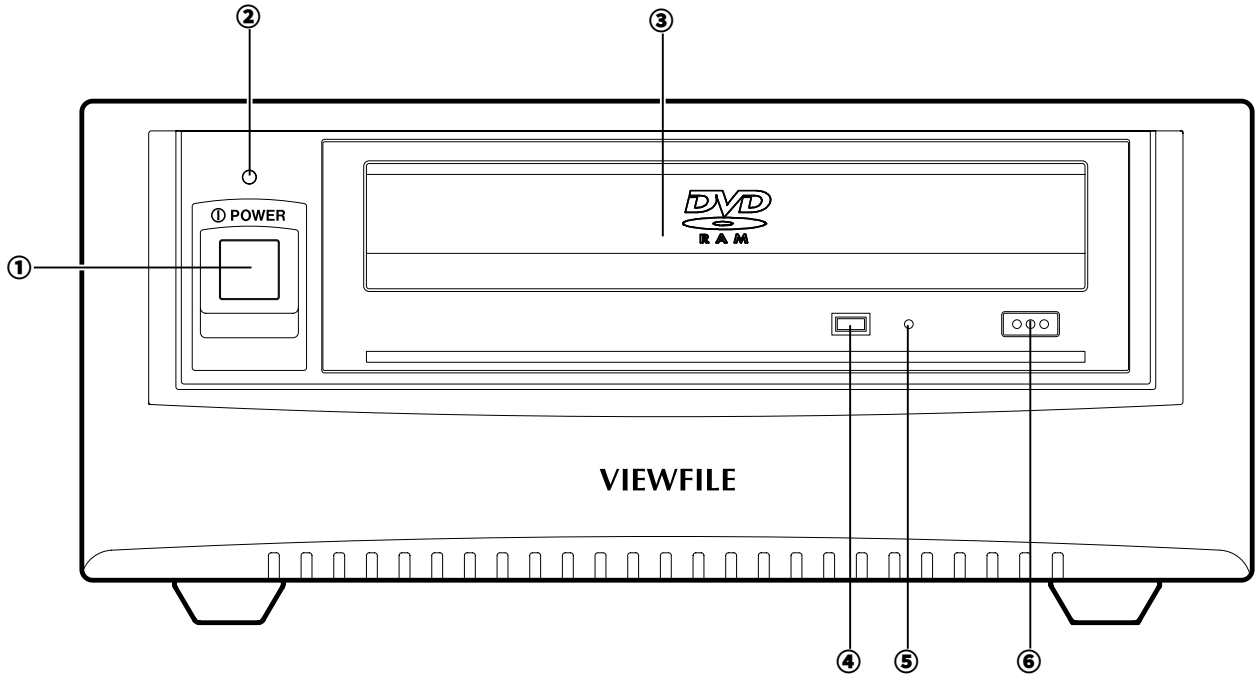
各画像ファイル（.JPG）のファイル名は、検査フォルダの枠を超えて１枚のディスクの中で連番になります。たとえば、ある検査フォルダの最後の画像ファイルが“00000005.JPG”とすると、次の検査フォルダの最初の画像のファイル名は“00000006.JPG”になります。

検査フォルダ名（2 階層目のフォルダ名）

各検査フォルダのフォルダ名は、そのフォルダの最初の画像のファイル番号と同じになります。
なお、100 検査毎（または、はじめての検査時）に、１階層目のフォルダが自動的にできます。このフォルダ名も、フォルダ内の最初の画像のファイル番号と同じになります。



前面



① POWER スイッチ
押すと電源が入ります。もう一度押すと切れます。

② POWER LED
電源が入ると点灯します。

③ ディスクトレイ
ディスクを入れるトレイです。

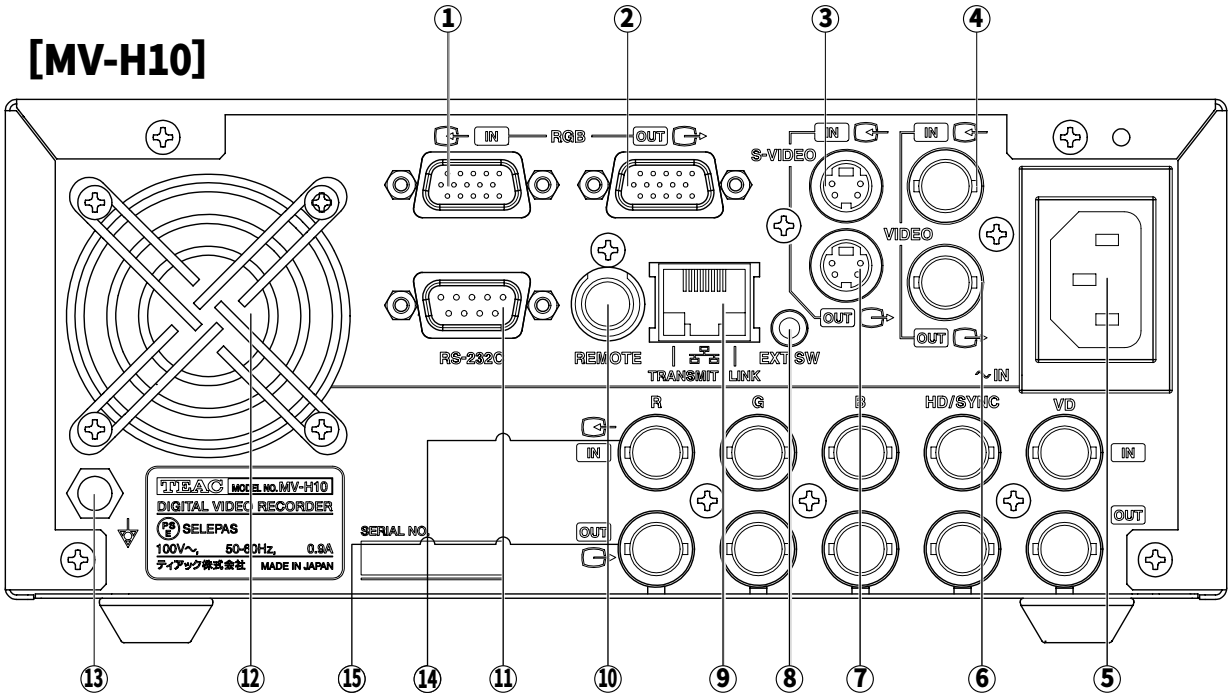
④ ドライブ表示ランプ
ディスクドライブの動作状態を表します。
緑色点灯：　ディスクにアクセス中
緑色点滅：　ドライブでエラーが発生した時

⑤ 強制イジェクトホール
停電などのためにディスクが取り出せなくなった場合に、付属のディスクイジェクトピンを挿入します。
ピンの挿入は電源が切れている状態で行ってください

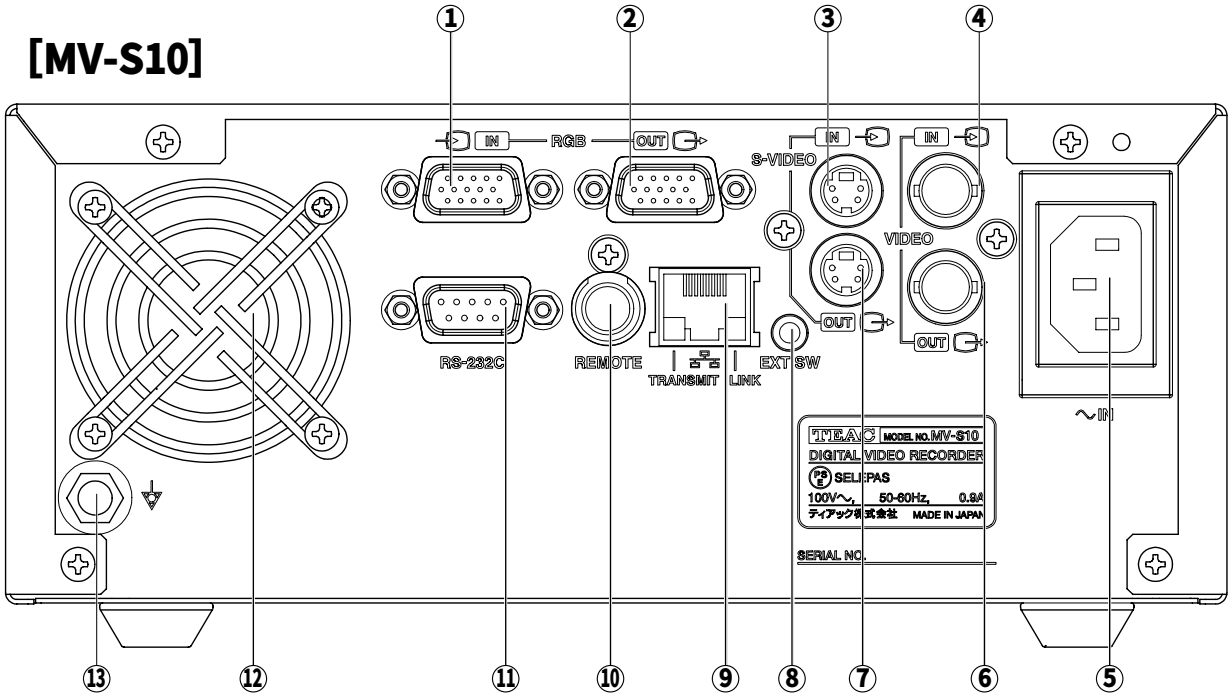
⑥ 取り出しキー
ディスクトレイを開閉するときに押します。

背面

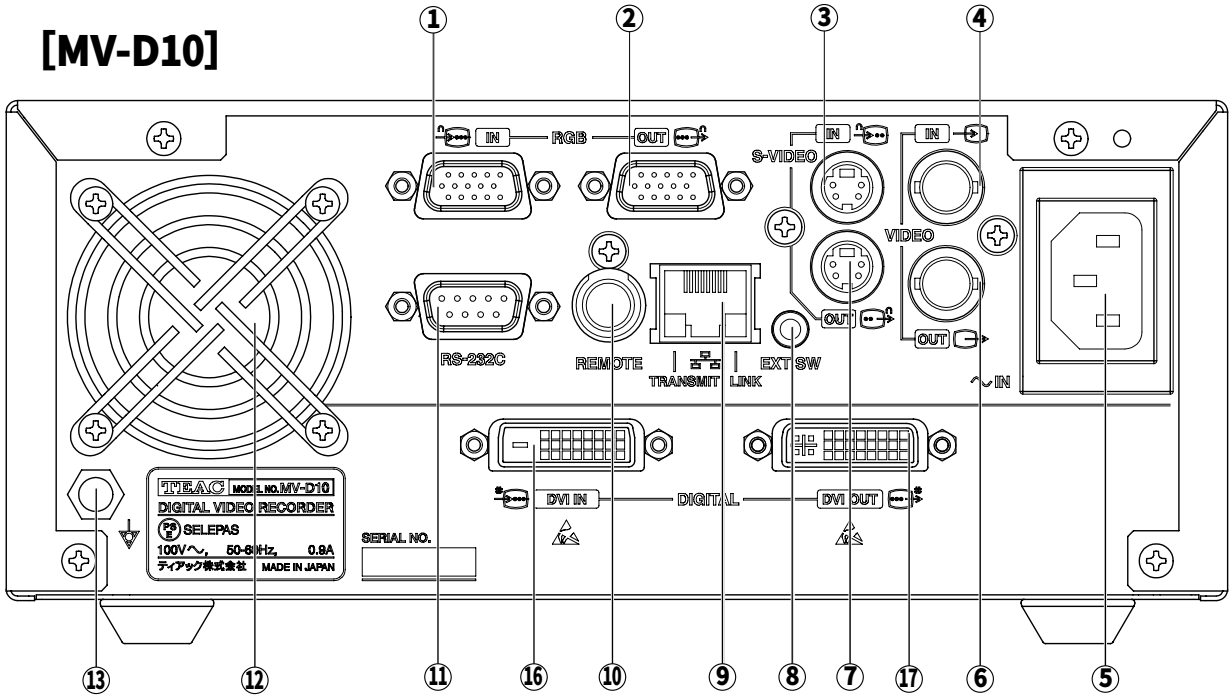
[MV-H10]



[MV-S10]



[MV-D10]



① RGB 入力コネクタ
RGB（NTSC）信号を入力します。
付属ケーブルの青色コネクタを接続します。

② RGB 出力コネクタ
RGB（NTSC）信号を出力します。
付属ケーブルの青色コネクタを接続します。

③ S-VIDEO 入力コネクタ
S-VIDEO 信号を入力します。

④ VIDEO 入力コネクタ
VIDEO 信号を入力します。

⑤ 電源コネクタ
付属の電源コードを接続します。アース線は必ず接地してください。

⑥ VIDEO 出力コネクタ
VIDEO 信号を出力します。

⑦ S-VIDEO 出力コネクタ
S-VIDEO 信号を出力します。

⑧ 外部スイッチ用ジャック
別売のフットスイッチを接続します。

⑨ LAN コネクタ
画像ファイルを転送する時、ネットワークに接続します。

⑩ REMOTE コネクタ
リモコンを接続します。このコネクタのコントロール信号線は RS-232C に準拠しています。

⑪ RS-232C コネクタ
外部から本機をコントロールするときに使います。
詳細はお問い合わせください。

⑫ 冷却ファン
本体を冷却するためのファンです。吹き出し口をふさがないでください。

⑬ 等電位化端子
等電位化端子です。DIN 42801 に従ったコネクタをもつ等電位化ケーブルを接続してください。
医療機器と組み合わせて使用される際は専用のケーブルで機器と機器を接続して下さい。

⑭ HD 入力コネクタ（MV-H10 のみ）
HD 信号を入力します。

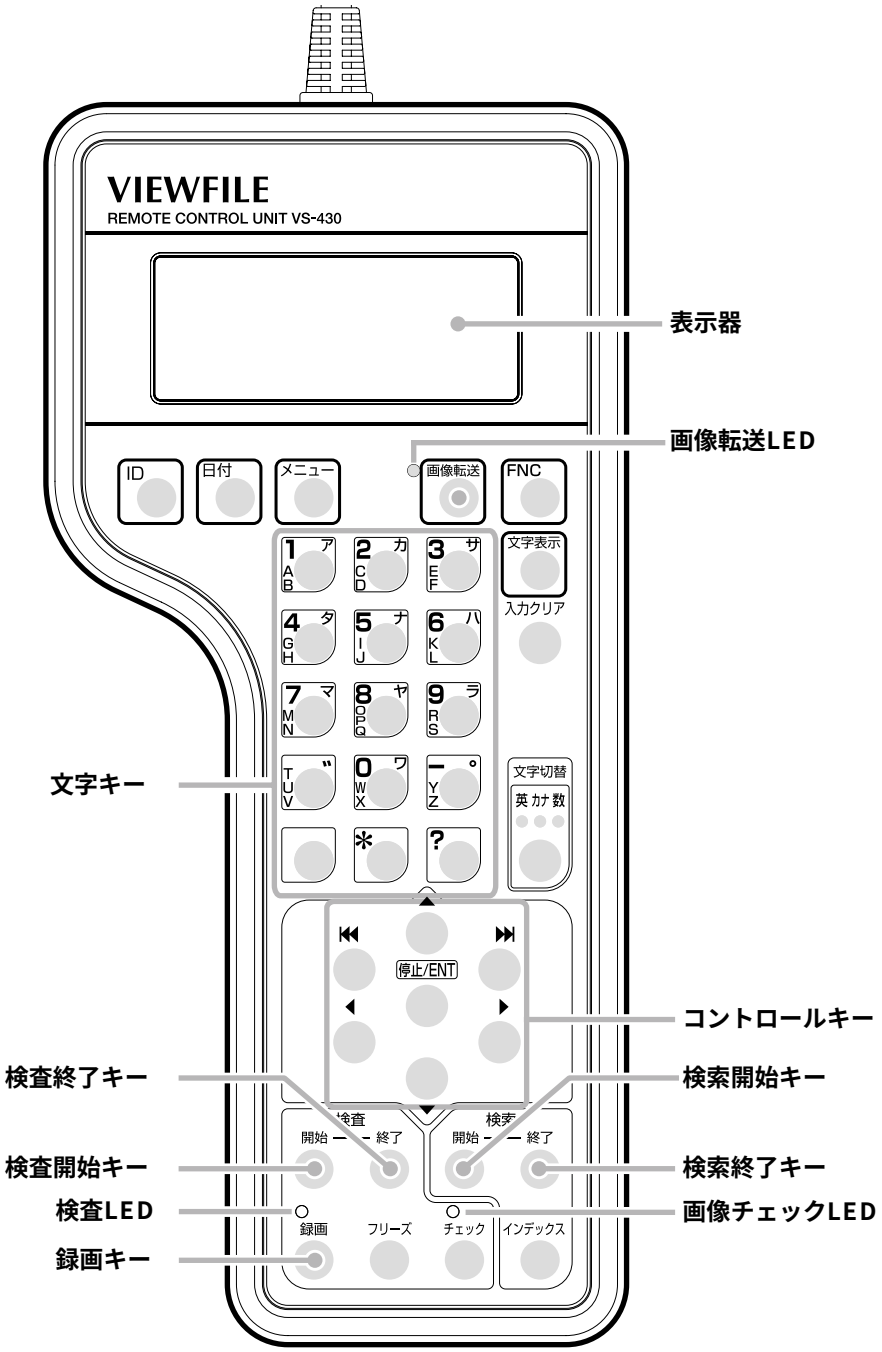
⑮ HD 出力コネクタ（MV-H10 のみ）
HD 信号を出力します。

⑯ DVI 入力コネクタ（MV-D10 のみ）
DVI 信号を入力します。
DVI-D ケーブルを接続します。

⑰ DVI 出力コネクタ（MV-D10 のみ）
DVI 信号を出力します。
DVI-D ケーブルを接続します。（DVI-I ケーブルを接続することも可能です。ただし、アナログ RGB 信号は出力されません。）

リモコン

リモコンの各部の名前は下図に示したものを除き、パネルの表記にしたがって「**ID** キー」、「▲キー」等とよびます。



- 暗い所での操作のためにキーをほのかに光らせることができます。設定のしかたは「リモコン EL」(37 ページ）をお読みください。

この章では電源を入れる前に行う接続と設定について説明します。ここで説明する接続・設定が終わるまでは電源を入れないでください。

接続する

接続するのは、電源、リモコン、入力、出力、です。

入力ケーブルを接続する

本機は S-VIDEO 入力端子、VIDEO 入力端子、RGB 入力端子、HD 入力端子(MV-H10)、DVI 入力端子(MV-D10)の入力端子をもちます。いずれかの端子に入力ケーブルをつないでください。

※入力信号種類の切り替えは、アイドル中（検査終了状態）に行ってください。
検査中に行うと画像が正常に収録できない可能性があります。

● RGB 入力ケーブルを接続するときは

MV-H10 は RGB(NTSC)と HD の 2 種類の RGB 入力端子を持ちますが、これら 2 種類の RGB 入力端子を同時に両方使用することはできません。

- **RGB（NTSC）**
  本機に入力できる RGB(NTSC)信号は下記の通りです。
  毎秒 30フレーム/水平走査線数 525 本､インターレース
- **HD(MV-H10 のみ)**
  MV-H10 に入力できる HD 信号は下記の通りです。
  ハイビジョン規格 RGB 信号
  1920 × 1080 60Hz インターレース
  ハイビジョン規格 RGB 信号
  1920 × 1080 50Hz インターレース
  5 線式 RGB 信号
  1280 × 960 60Hz ノンインターレース
  5 線式 RGB 信号
  1024 × 768 60Hz ノンインターレース
  5 線式 RGB 信号
  640 × 480 60Hz ノンインターレース

付属のケーブルを使用する場合
信号名と色は以下のようになります。

MV-H10	MV-S10
R ……赤	R ……赤
G ……緑	G ……緑
B ……青	B ……青
HD/SYNC ……白	SYNC ……白
VD ……茶	

●DVI 入力ケーブルを接続するときは（MV-D10 のみ）
入力できる DVI 信号は下記の通りです。
640 × 480（60Hz）～ 1280 × 1024（60Hz）
DVI 信号の識別は自動で行われます。

出力ケーブルを接続する

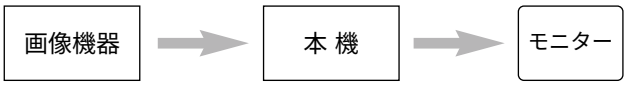
本機は S-VIDEO 出力端子、VIDEO 出力端子、RGB(NTSC)出力端子の 3 つの NTSC 出力端子と、HD 出力端子(MV-H10)、DVI 出力端子(MV-D10)を持ちます。入力選択（36 ページ）において、HD 以外を指定した場合は 3 つの NTSC 出力端子全てに同時に信号が出力されています。また、入力選択に関わらず、HD、DVI 以外で記録した画像を再生中にも 3 つの NTSC 出力端子全てに同時に信号が出力されます。
入力選択（36 ページ）において、HD を指定した場合は、HD 出力端子または DVI 出力端子に信号が出力されます。HD を指定して記録した画像を再生する場合、現在の入力選択に関わらず HD 出力端子又は DVI 出力端子にしか出力されません。

※ MV-S10 には HD 出力端子、DVI 出力端子がありません。
※ MV-H10 には DVI 出力端子がありません。
※ MV-D10 には HD 出力端子がありません。

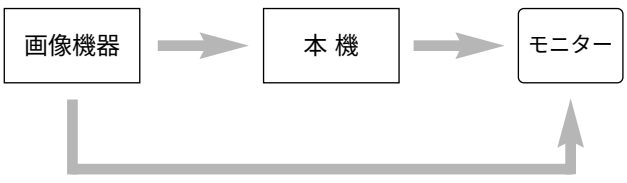
参考

● 電源を切っても画像が見られるようにするには
下図の接続例①では、本機の電源を切るとモニターで入力画像を見ることはできません。（MV-H10 HD 入出力を除く）そこで接続例②のようにつなげば、本機の電源を切っても入力画像を見ることができます。

【接続例①】



【接続例②】

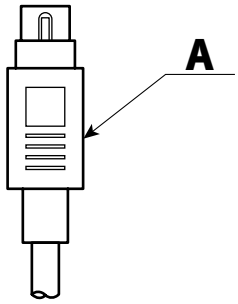


（本機への入力とは別種の信号）

リモコンを接続する

注 意
リモコン、カードリーダ、バーコードリーダの抜き差しをするときには本体の電源を切ってください。電源を入れたまま抜き差しすると本体またはリモコンが破損することがあります。
リモコンを抜く場合は A 部（下図）を抜く方向に引いて抜いてください。

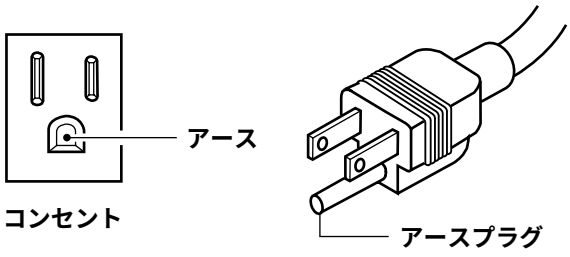
リモコンケーブル先端のプラグを本体リアパネルの REMOTE 端子に差し込んでください。下図の面が上側です。



電源ケーブルを接続する

警 告
本機の電源は AC100 V ± 10 %（50/60 Hz）です。それ以外の電源を投入すると火災・感電の原因となります。
感電事故を防ぐため、必ず絶縁トランスを使用してください。

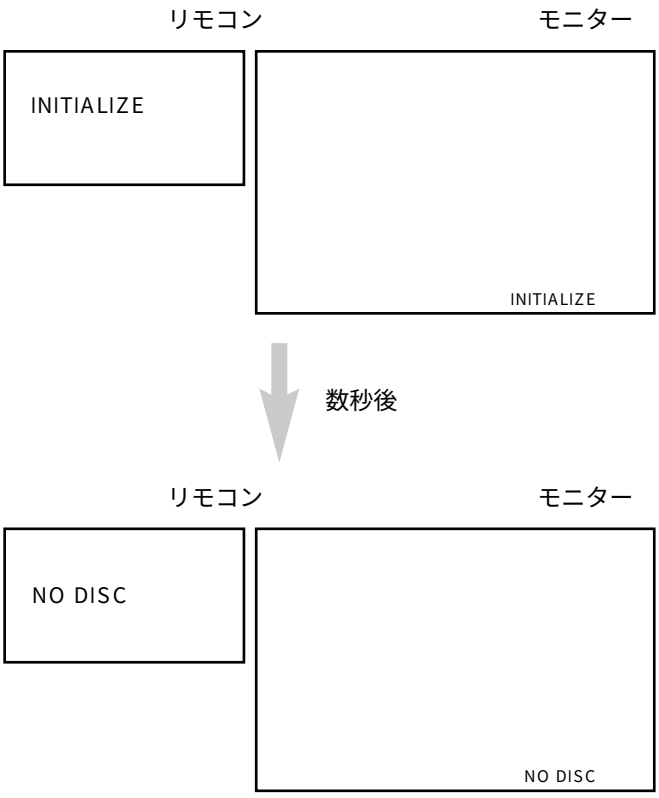
電源ケーブルは 3 芯式です。安全のため 2 芯式コンセント（アースなし）には接続しないでください。



電源を入れる

モニター・画像機器・本機の電源を入れてください。リモコン、モニターに下のように表示されます。

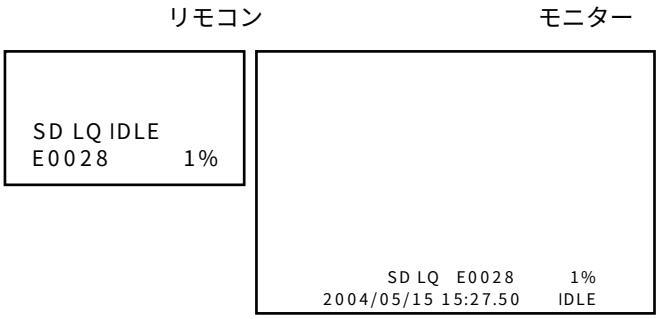
●モニターに本機から出力される文字情報を表示させるにはリモコンの**文字表示**キーを押してください。



ディスクを入れる

つぎに、指定のディスクを挿入してください。
数秒後、リモコン、モニターにディスクによりつぎのように表示されます。
カートリッジ入りでないディスクは UNSUPPORT DISC と表示されます。必ずカートリッジ入りのディスクをご使用ください。

● フォーマット済みのディスクのときは

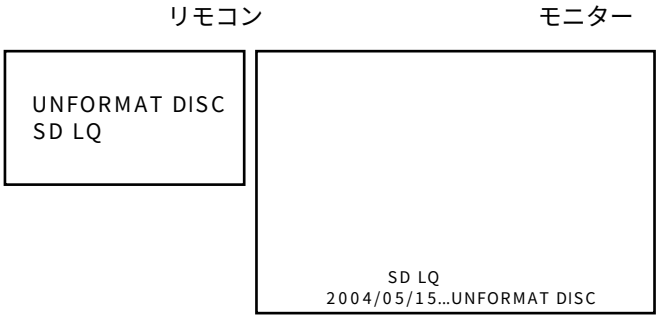


SD LQ ：画像サイズ・画質
0028 ：記録済み検査数
1% ：使用済み容量
日付 ：現在時刻表示

この状態を**アイドル**とよびます。記録から再生に移るときも、逆に再生から記録に移るときも、いったんこのアイドルに戻らなければなりません。

● フォーマットしてないディスクのときは

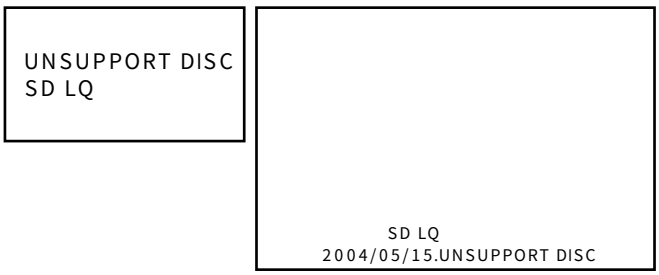
フォーマット済みディスクと交換するか、フォーマットしてください。



● 異なるフォーマットのディスクのときは

異なるフォーマットディスクを入れると“UNSUPPORT DISC”が表示されます。取り出しキーを押してディスクを取り出してください。

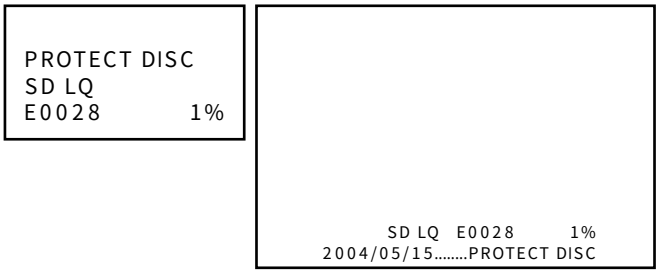
リモコン　　モニター



● 書き込み禁止にしたディスクのときは

ライトプロテクトタブを書き込み禁止にしたディスクは再生はできますが、記録はできません。

リモコン　　モニター

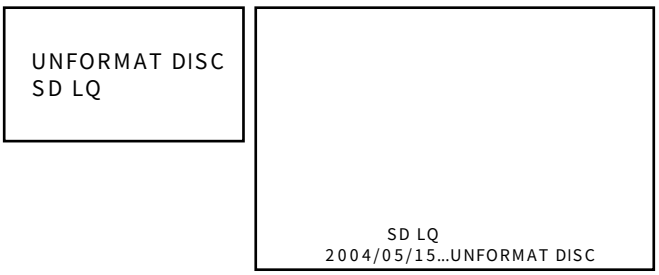


フォーマットする

フォーマットしてないディスクは、まずつぎの手順でフォーマットしてください。

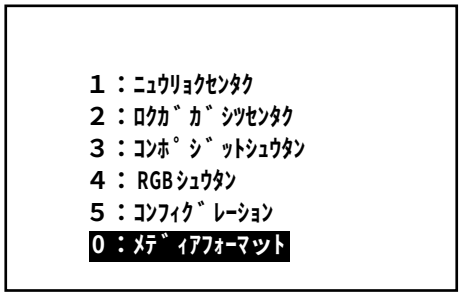
●記録済みのディスクをフォーマットするとディスク内のすべての画像が消えます。ご注意ください。

下の状態から始めます。



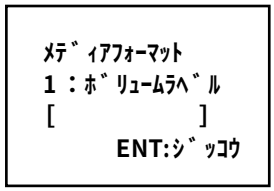
1. ［メニュー］キーを押す。

モニターの表示が下のように変わります。



2. ［0］キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。



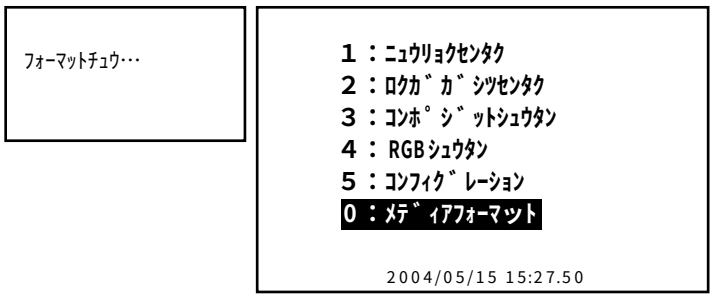
必要に応じて、ボリュームの名前（8 文字まで）を入力します。

3. [停止/ENT] キーを押す。

フォーマットが始まります。

フォーマット中は “ ﾌｫｰﾏｯﾄﾁｭｳ ”…が表示されます。

リモコン　　モニター



フォーマットが終わるとトップメニューに戻ります。

交換用ディスクの用意

ディスクが一杯になったり、汚れた場合などの交換用として予備ディスクをご用意されることをお勧めします。その場合、すぐに録画できるように、本装置にてフォーマット操作を行っておいて下さい。

ディスクを交換する

ディスクを交換する手順を説明します。

1. アイドル時にイジェクトキーを押します。

ディスクが出ますので取り出してください。

アイドル時のみイジェクトできます。

モニターとリモコンの表示が " NO DISC " になります。

2. つぎのディスクを入れます。

電源を切る

電源の切り方を説明します。

■ リモコンで操作しているとき

1. リモコンの表示が " IDLE " であることを確認します。

2. " IDLE " でなければ［検査終了］または［検索終了］キーを押します。

3. 本体を持ち運ぶときはイジェクトキーを押します。

ディスクが出ますので取り出してください。

4. 電源スイッチを押します。

これで電源が切れます。

注 意

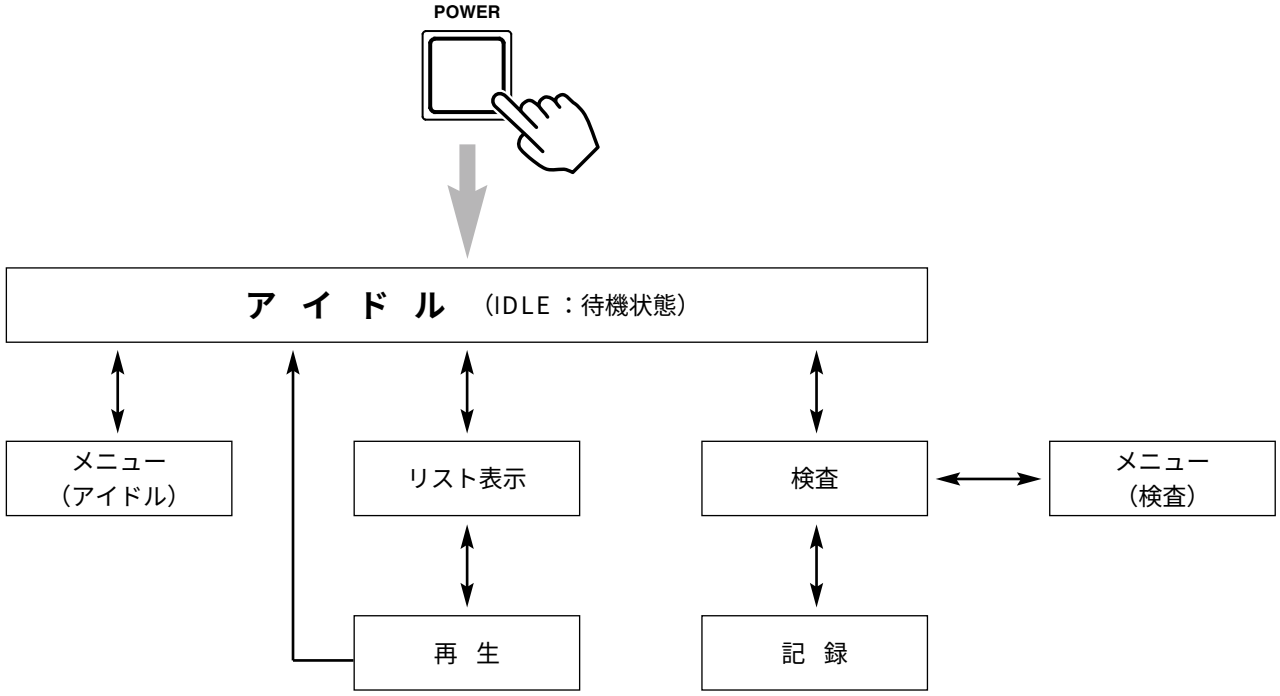
● 移動するときは電源を切る前にディスクを取り出してください。ディスクを挿入したまま本機を持ち運ぶと故障の原因になります。

● 電源を切るときは下記の手順でアイドル状態にしてから切ってください。もし記録動作中に電源を切るとディスク上のデータが破壊され、そのディスクが使えなくなることがあります。

●画像転送中（リモコンの［画像転送］ランプ点灯中）は電源を切らないで下さい。
画像転送を強制中止するには、［画像転送］ボタンを約 2 秒押し続けます。［画像転送］ランプが消灯したことを確認の上電源を切ってください。

基本的な操作フロー

この章では最も基本的な操作を説明します。まず操作のおおまかな流れを下図に示します。



記録前の準備

記録の前に次の項目を設定してください。

入力信号の選択

S-VIDEO、VIDEO、RGB、HD(MV-H10 のみ)、DVI(MV-D10 のみ)の、どのコネクタからの信号を記録するのかを選択します。
選択した信号が本機に入力されていないと SYNC ERROR となり、画像を記録することができません。
HD を選択した場合、「HD ニュウリョク」（41 ページ）の設定も必要です。(MV-H10 のみ。MV-D10 は自動識別の為設定は不要です)
→ 設定方法（36 ページ）

画質の設定

大容量、標準画質、高画質、非圧縮（最高画質）(MV-S10 を除く)から、記録時の画質を選択します。
画質が高いほどディスクに記録できる総画像数は少なくなります。又、ディスクに書き込む時間が長くなりますのでご注意下さい。
→ 設定方法（36 ページ）

磁気カードリーダ／バーコードリーダの設定

患者情報を入力する為に磁気カードリーダ／バーコードリーダ（オプション）を使用して操作量を軽減することができます。
使用する磁気カードやバーコードに応じた設定を行う必要があります。
→ 設定方法（46 ページ）

ディスクフォーマット

ディスクは記録前に一度本体でフォーマットする必要があります。フォーマットするとディスクに記録されているデータがある場合は全て削除されます。
未フォーマットのディスクには画像を記録することができません。
→ フォーマット方法（49 ページ）

この章では記録の手順を説明します。

記録する

録画準備にすると［録画］キーを押すたびに同じ ID で連番が異なる画像が記録できます。連番は 1 から始まり 500 までです。異なる ID で記録したいときは［検査終了］または［検索終了］キーを押していったんアイドルに戻り、ID を入力してください。

1. リモコンの表示が “ IDLE ” であることを確認する。

2. “ IDLE ” でなければ［検査終了］または［検索終了］キーを押す。

3. ［ID］キーを押す。

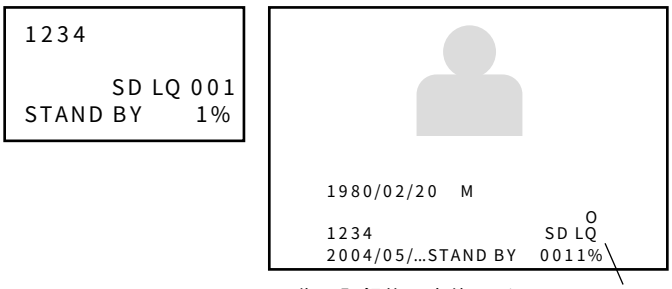
リモコンの表示が下のように変わります。

4. 文字キーで ID を入力する。（50 ページ）

5. ［検査開始］キーを押す。

ID が確定します。検査 LED が点灯します。

リモコン　　モニター



画像を記録後、本体のバッファメモリに保存されているものの、まだディスクに記録されていない画像数を表示します。

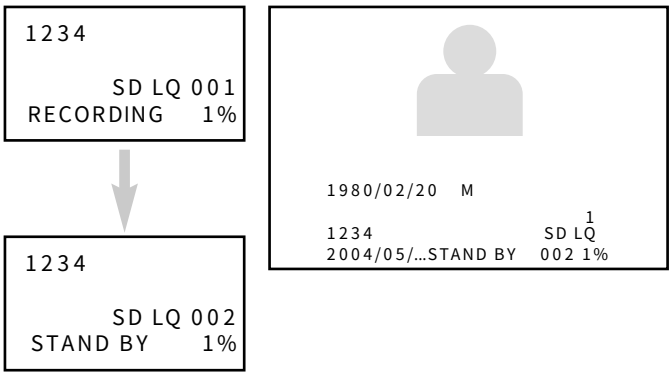
SD LQ：画像サイズ・画質
1%　：使用済み容量
日　付：現在時刻表示

両面 DVD-RAM ディスクの A 面に記録する場合は、A 面表示を上にした状態で、ディスクを挿入してください。

6. ［録画］キーを押す。

［録画］キーを押すたびに画像が記録されます。

リモコン　　モニター



記録を終了するには

7. ［検査終了］キーを押す。

録画準備が解除されアイドルに戻ります。
検査 LED は消え､モニターもアイドル状態に戻ります。
本体のバッファメモリに保存されているものの、まだディスクに記録されていない画像があると、それら全ての画像をディスクに書き込んでから検査を終了するための時間を要します。

参考

● 500 枚録画すると

500 枚録画すると、「SUFFIX FULL」の表示がリモコンとモニターに出て、［録画］キーは受け付けられなくなります。
このときはいったん［検査終了］キーを押してアイドルに戻ってください。つぎに同じ ID で記録することはできますが、検査ブロックは別になります。

●ディスクがいっぱいになると

ディスクの残量がなくなりこれ以上記録できなくなると、録画準備中のモニターに「DISC FULL」の表示が出て［録画］キーは受け付けられなくなります。

●［文字表示キー］で表示される文字情報、は記録しません。

［文字表示］キーを押すとモニターに文字情報（ID、日付など）を表示させることができますが、画像に文字情報は記録しません。記録するのは入力画像だけです。

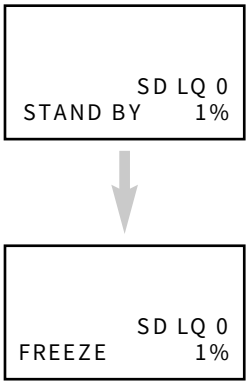
記録のとき便利な機能

フリーズ

録画準備中に入力映像を静止させることができます。

1. 録画準備状態で［フリーズ］キーを押す。

押した瞬間に動画が静止します。
リモコンの表示は下のように変わります。



● 録画準備に戻るには →

もういちど［フリーズ］キーを押す。

● 止めた画像を記録するには→

［録画］キーを押す。

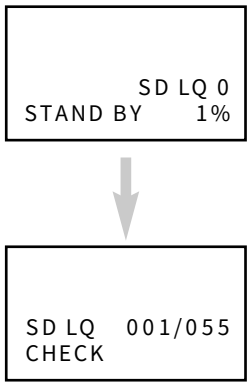
この操作をすると自動的に録画準備に戻ります。

直前にとった画像を見る

録画準備中に、直前にとった画像を確認することができます。録画準備にしてから１枚も記録していないときにはこの操作はできません。

1. 録画準備状態で［チェック］キーを押す。

直前にとった画像が再生されます。
リモコンの表示は下のように変わります。



● このとき［録画］キーを押しても記録できません。

● さらに前の画像を見るには→ ◀ キーを押す。

押すたびに１つずつ前の画像が再生されます。
ただし録画準備にしてから記録した画像に限ります。

● 録画準備に戻るには →

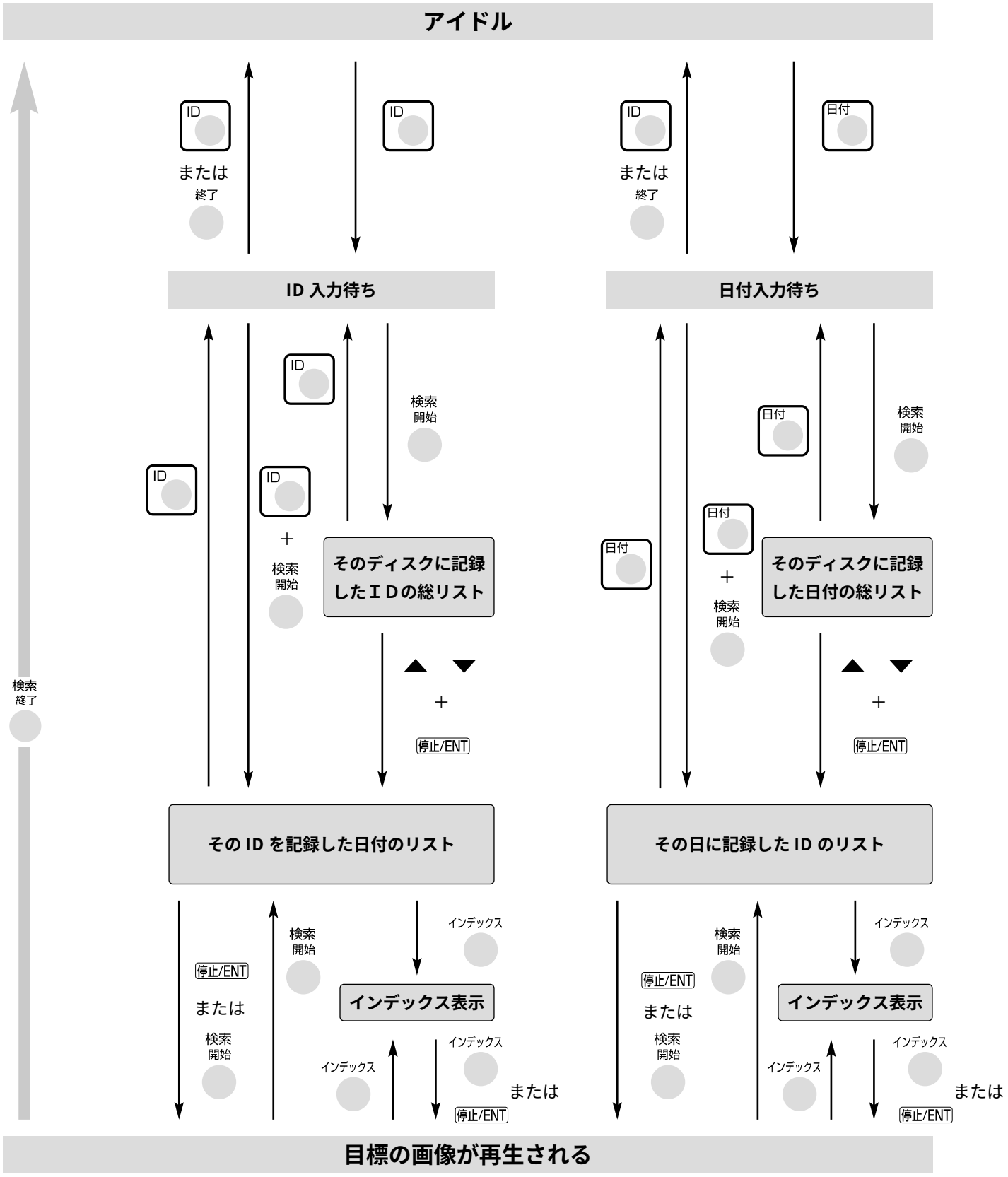
もういちど［チェック］キーを押す。

再生する

この章では再生の手順を説明します。
再生するにはまずサーチの方法を選び、つぎにサーチ目標を入力します。すると希望の画像が再生され、◀ キーと ▶ キーでコマ送りすることができます。

再生操作のおおまかな流れを下図に示します。
サーチにはつぎの２種類の方法があります。

- ID サーチ
- 日付サーチ

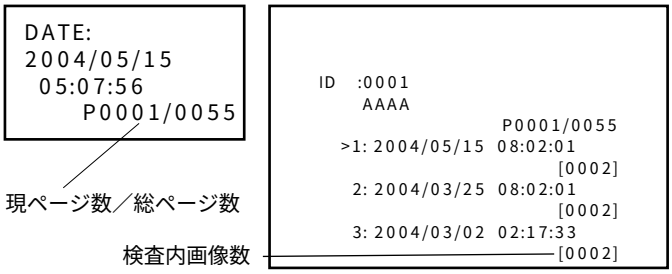


全検索

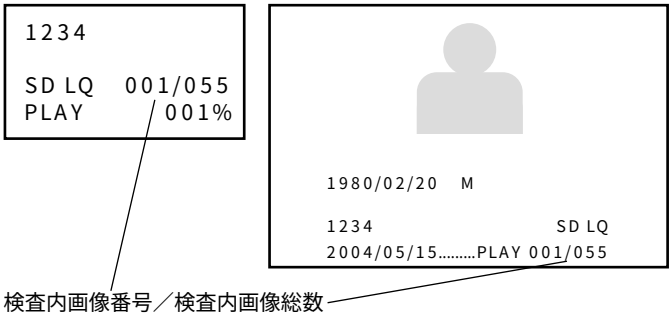
1. リモコンの表示が “ IDLE ” であることを確認する。

2. “ IDLE ” でなければ［検査終了］または［検索終了］キーを押す。

3. ［検索開始］キーを押す。
ディスクに記録されている全ての検査が新しい順にモニターにリスト表示されます。
→ ID を指定して検索する（25 ページ）
→ 日付を指定して検索する（26 ページ）



4. ［▼］/［▲］キーを押して画面内の＞を上下に移動し、希望の行で［停止 ENT］キーを押します。



参考

●一度に表示できる ID は最大 10 までです。11 以上あるときはモニター右上の表示が「1/3」のようになり、リストが複数のページにわたることを示します。このときは ⏭ キーを押すと次ページのリストに切り換わります。⏮ キーを押すと前ページに戻ります。

ID サーチ

まず ID を指定し、つぎにその同じ ID で記録した画像のリストの中から希望の日付のものを選択してサーチします。

1. リモコンの表示が “ IDLE ” であることを確認する。

2. “ IDLE ” でなければ［検査終了］または［検索終了］キーを押す。

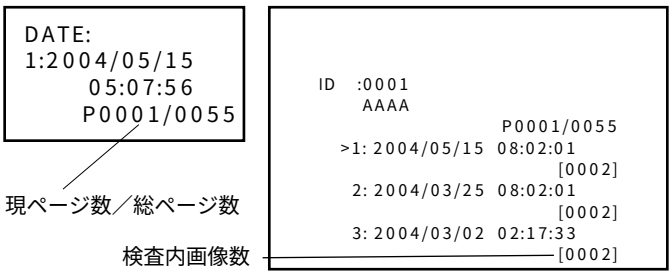
3. ［ID］キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

4. 文字キーで ID を入力する。（50 ページ）
（※磁気カードやバーコードを使用する場合はここで ID を読み込みます。

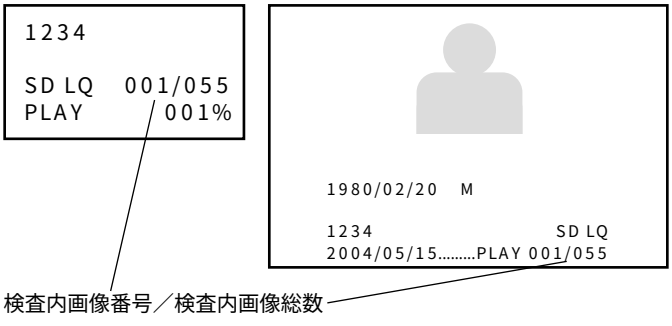
5. ［検索開始］キーを押す。

指定した ID の画像を記録した日付が、新しい順にモニターにリスト表示されます。



6. ［▼］/［▲］キーを押して画面内の＞印を上下に移動し、希望の行で［停止/ENT］キーを押します。

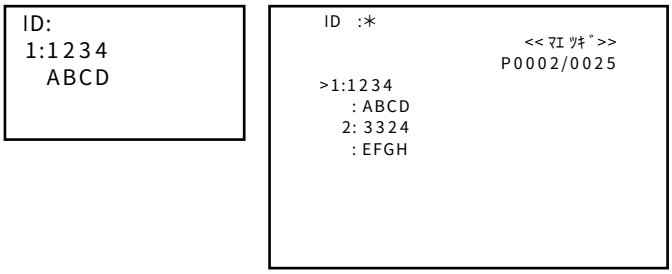
希望の日付ブロックの先頭の画像が再生されます。



■ ID がわからないときは

サーチしたいが、ID がわからないというときには、そのディスクに記録した ID をすべてリストすることができます。そこから ID を選択すると、その ID で記録した日付のリストを表示できます。

1. 左の手順 **4** で「＊」を入力すると、すべての検査が新しい順にモニターにリストされます。
（※注意として、同一 ID はまとめて表示されます。）



2. ［▼］/［▲］キーを押して画面内の＞印を上下に移動し、再生したい検査を選択します。

3. ［停止/ENT］キーを押すと検査の先頭の画像が再生されます。

日付サーチ

まず画像の記録日を指定し、つぎにその日に記録した画像の ID のリストの中から希望の ID を選択してサーチします。

1. リモコンの表示が “ IDLE ” であることを確認する。

2. “ IDLE ” でなければ［検査終了］または［検索終了］キーを押す。

3. ［日付］キーを押す。

リモコンの表示が下のように変わります。

```
DATE:
2004/05/15
```

4. 文字キーで年月日を入力する。（50 ページ）

希望の画像を記録した日付を年→月→日の順に入力してください。

5. ［検索開始］キーを押す。

指定した日付の検査が、新しい順にモニターにリストされます。

```
ID/ﾅﾏｴ:
1:5673
IJKL
      P0002/0025
```

現在のページ数／総ページ数

```
DATE: 2004/05/15
                    P0002/0025
  >1:5673
    :IJKL              [0002]
  2:3324
    :EFGH              [0002]
  3:1234
    :ABCD              [0002]
```

検査内画像数

6. ［▼］/［▲］キーを押して画面内の＞印を上下に移動し、希望の行で［停止/ENT］キーを押します。

希望の日付ブロックの先頭の画像が再生されます。

■ 日付がわからないときは

サーチしたいが、いつ、どんな画像をとったかがわからないというときには、そのディスクに記録した日付をすべてリストすることができます。そこから日付を選択すると、その日に記録した ID のリストを表示できます。

1. 左の手順 **4** で「＊」を入力すると、すべての検査が新しい順にモニターにリストされます。

（※注意として、同一年月日はまとめて表示されます）

```
DATE:
1:2004/05/15
      P0001/0055
```

```
DATE:20＊
                    <<ﾏｴ ﾂｷﾞ>>
                    P0001/0055
  >1:2004/05/15
    2:2004/03/25
    3:2004/03/02
```

2. ［▼］/［▲］キーを押して画面内の＞印を上下に移動し、希望の行で［停止/ENT］キーを押すと、その日に記録した検査が、古い順にモニターにリストされます。

3. 左の手順 **6** と同様に検査を選択すると、希望の検査の先頭の画像が再生されます。

インデックス再生

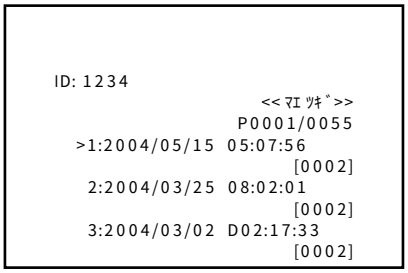
モニター画面に一度に 9 枚の画像を表示して、その中から拡大表示したい画像を選択することができます。

1. 日付／ ID を選ぶ

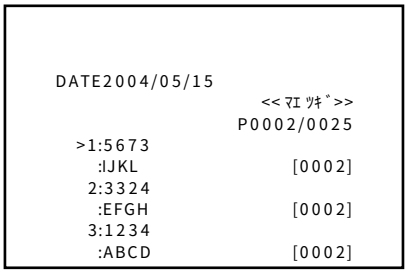
希望の行に＞印を合わせ、［インデックス］キーを押す。

「指定した ID を記録した検査のリスト」または「指定した日に記録した検査のリスト」の画面で▼または▲キーを押して画面内の＞印を上下に移動し、再生したい行を選択して、［インデックス］キーを押します。９枚の画像が一度にモニターに表示されます。

《リスト表示》



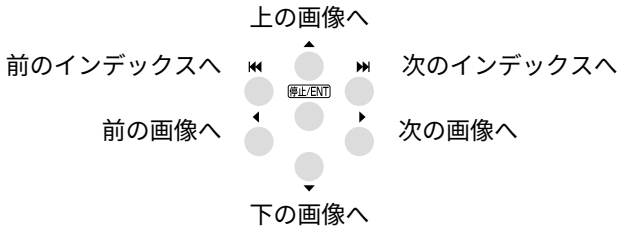
指定した ID を記録した日付のリスト



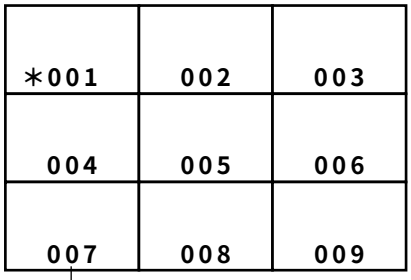
指定した日に記録した ID のリスト

2. 画像を選ぶ

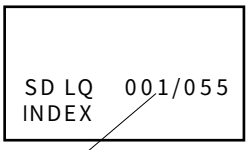
画面の中の＊マークを移動する。



《9 分割表示》



リモコン

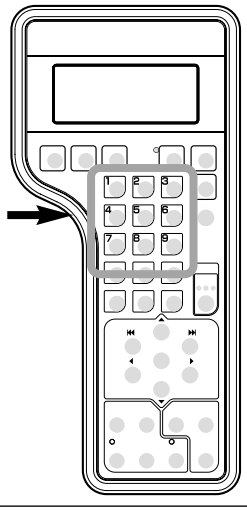


何番目の画像かを示します。

● 連番 10 以降の画面で 9 分割の左上に＊マークがあるときに ◀ キーを押すと、前のページの右下の画像に戻ります。

ワンポイント

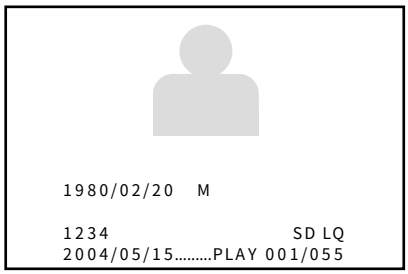
下図の 9 コのキーで分割画像を選べます。7 のキーが左下の画像、3 のキーが右上の画像に対応します。



3. 画像を拡大する

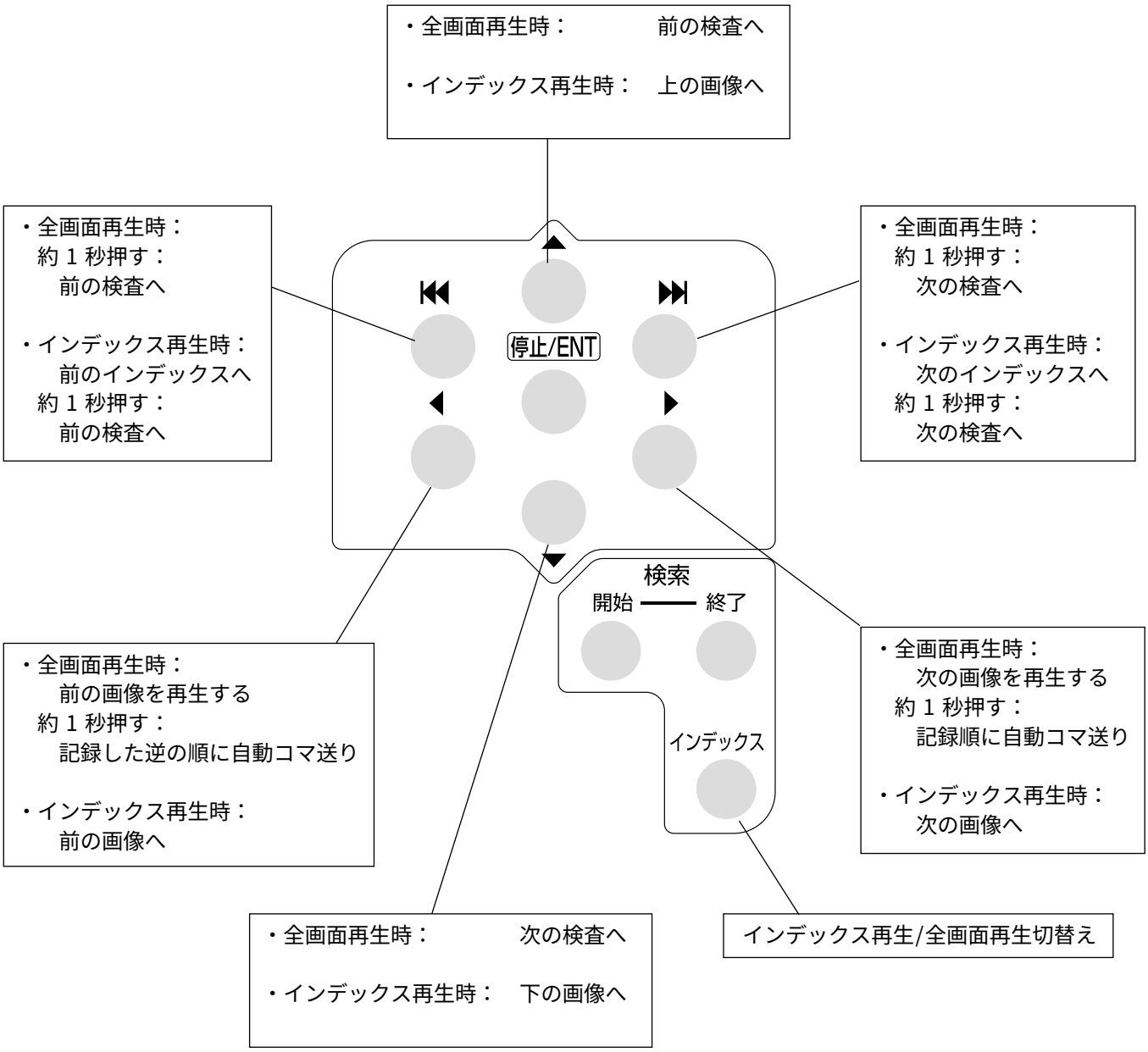
［停止/ENT］または［インデックス］キーを押す。

《拡大表示》



● 拡大してからふたたび［インデックス］キーを押すと、その画像を含む 9 分割表示に戻ります。
（例：連番 10 なら 10 ～ 18 の画面に、連番 20 なら 19 ～ 27 の画面に戻ります。）

画像再生中の操作



参考

■ 自動コマ送りの速さを変更する。

自動コマ送りの画像 1 枚あたりの再生時間を秒単位で設定することができます。
設定できる時間は 0 ～ 99 秒です。0 秒に設定すると可能な限り速くコマ送りします。
設定はアイドル状態のときに変更することができます。設定はメモリーに記憶され、電源を切っても保持されます。
詳しい設定方法は、「インターバル設定」（38 ページ）をご覧下さい。

再生中の患者情報を変更する

再生中の画像のIDを変更することができます。
再生中とはリモコン画面の左下に“PLAY”が表示されているときです。

●IDを変更すると、そのIDブロック内のすべての画像のIDが変わります。

1. 再生中に［ID］キーを押す。
（変更を中止するにはもう一度［ID］キーを押します。）
2. ID変更確認画面で［ENT］キーを押す。
3. 文字キーでID（名前・生年月日・性別）を入力する。
4. ［停止/ENT］キーを押す。

HD画像をNTSC信号に変換し出力する（MV-S10を除く）

HD再生画像を縮小してNTSC（RGB、コンポジット(VIDEO)、S-VIDEO）出力端子にNTSC信号を出力させる事ができます。

1. HD再生中（全画面、インデックス画面）に［FNC］キーを押す。

この時、モニタ、リモコンには“PLAY(SD)”と表示されます。
またインデックス再生中の時にはリモコンに“INDEX(SD)”と表示されます。

※元の画像のアスペクト比が4（横）：3（縦）以外の場合は、正常に表示されません。
※上記操作後、“全画面”再生画像はすべてNTSC側にも出力されます。ただし“インデックス”再生画像は表示変更する毎にNTSC側には表示されなくなります。その為、NTSC画像が必要な時は、再度1.を実行して下さい。
尚、一度再生操作を終了（IDLE状態）すると次の検索再生のNTSC出力は「再生ダウンコンバート」（41ページ）設定に従います。

転送する

すべての画像ファイルを転送する

44 ページの自動転送設定を使用してください。

指定の画像ファイルを転送する

転送したい「画像ファイル」・「検査単位」を選択して転送するには次の手順で行います。

●検査単位の転送（指定検査内の画像すべて転送）

1. 希望の検査を検索します。
   （23 ページの[その ID を記録した日付のリスト][その日に記録した ID のリスト]又は[全検索リスト]表示状態にして、カーソルを希望検査の行に移動させます。

2. [画像転送]キーを押します。
   転送が開始されます。
   転送中はリモコンの画像転送 LED と本体背面の LAN TRANSMIT LED が点灯します。
   リモコンとモニターに “ LAN テンソウチュウ ” メッセージも表示されます。

3. 転送が終了すると LED が消灯し、リストに戻ります。

●画像ファイルの転送（画面表示画像のみを転送）。

1. 希望の画像を検索し再生画像表示（全画面）にします。

2. [画像転送]キーを押します。
   転送が開始されます。
   転送中はリモコンの画像転送 LED と本体背面の LAN TRANSMIT LED が点灯します。

3. 転送が終了すると LED が消灯し、再生状態に戻ります。

※画像転送 LED 点灯中は電源を切らないで下さい。
画像転送を強制的に止めるには[画像転送]キーを約 2 秒間押してください。
PC 側の受信ソフトは付属の ViewFile Lite をご使用ください。

眼底カメラ同期機能

眼底カメラのシャッター信号とストロボ発光信号のタイミングに合わせて画像を取り込めます。
※入力設定が VIDEO ・ S-VIDEO ・ RGB の時に動作します。

眼底同期設定にする

48 ページのガンテイセッテイを参照して設定して下さい。

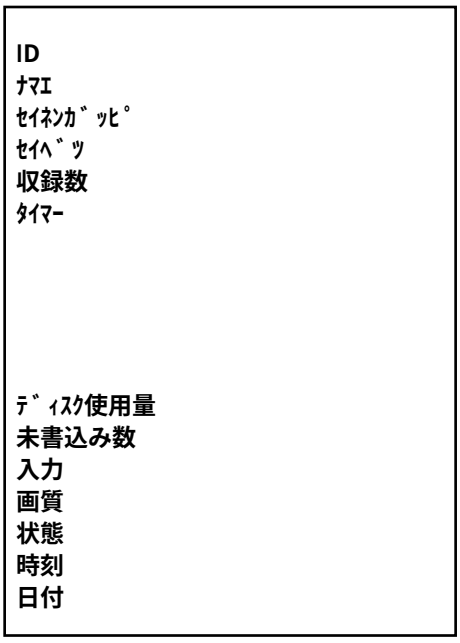
アクションモードを選択する

下記４種類があります。
1 アクション録画、1 アクションフリーズ
2 アクション録画、2 アクションフリーズ
設定方法は 48 ページを参照してください。

眼底カメラ同期ケーブルを接続する

眼底カメラと本機を同期ケーブルで接続します。（同期ケーブルは付属されておりません、詳細はお問い合わせ下さい）

眼底同期モードにすると、モニタ画面に表示している文字（OSD）が、画面左側に整列します。下記参照



記録する

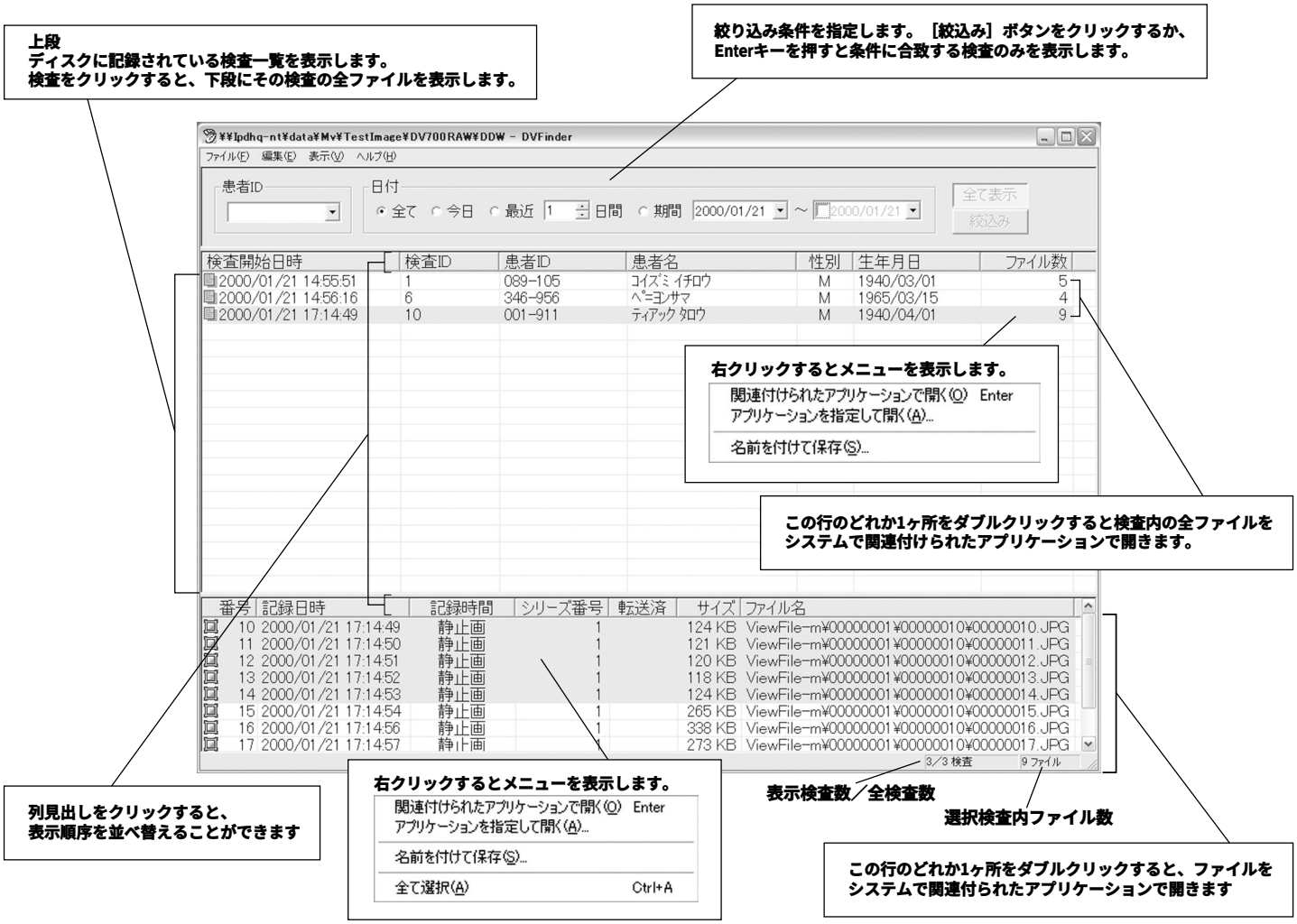
眼底カメラからのトリガ（シャッター）信号でストロボ同期し収録します。
※眼底同期モード中でもリモコンの録画キーは有効です。
アクションモードでフリーズを選択した場合は録画キーで収録して下さい。

眼底タイマー機能

録画準備中に、リモコンの[▼]キーを押すとタイマー機能が開始されます。
この時、画面の左上にタイマー値が表示されます。（MM:SS、１秒毎の更新）
[▼]キーを押すたびに、[計時開始]→[計時停止]→[リセット]の順で切り換わります。このタイマー情報は画像と一緒に記録されますので、再生時にモニター画面に表示されます。
※検査開始時はタイマー値が表示されておりません。開始すると同時に表示されます。

PC で画像を表示する

本機でディスクをフォーマットすると検索ソフトウェア “ DVFinder ” が書き込まれます。
この “ DVFinder ” により、本機で録画したディスクをパソコンのドライブに入れて検索することができます。



■必要なシステム

ＣＰＵ	：	PentiumIII 450MHz 以上
ＯＳ	：	Windows 98/Me/2000/XP
メモリ	：	128MB 以上
ディスプレイ	：	解像度 800 × 600 以上、1024 × 768 推奨

■起動のしかた

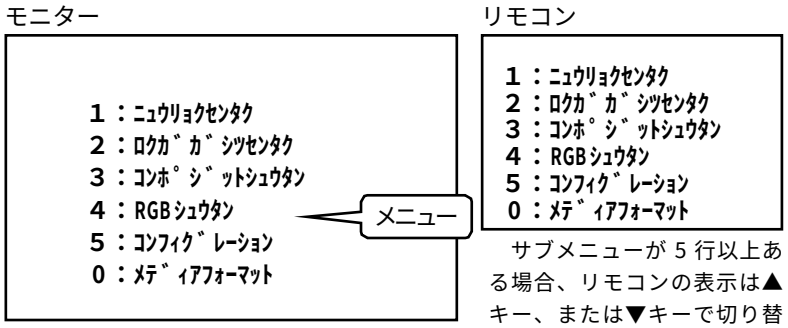
MV-H10/MV-S10/MV-D10 で録画したディスクを「プロテクトノッチ」を書き込み禁止の方に切り替えてから、パソコンの DVD-RAM ドライブに入れます。

ディスクの中の、DVFinder.exe をダブルクリックすると、DVFinder が起動します。

1. 電源投入直後、またはディスク挿入直後、アイドル状態で［**メニュー**］キーを押します。

モニター、リモコンにメニューが現れます。

元の画面に戻るには、もう一度［**メニュー**］キーを押します。

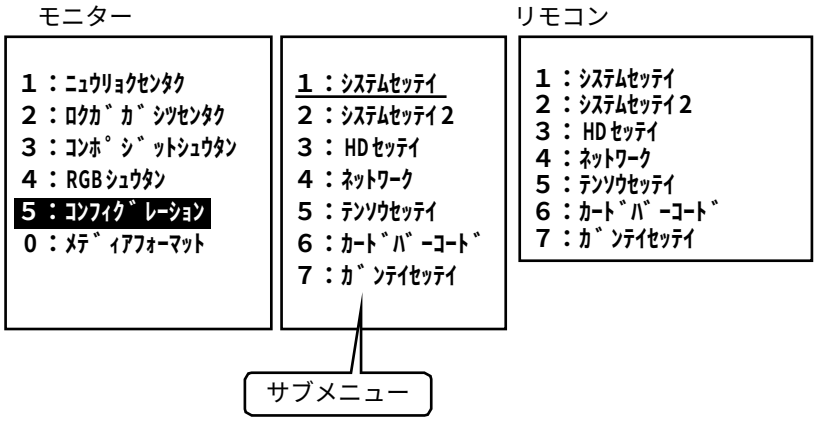


サブメニューが 5 行以上ある場合、リモコンの表示は▲キー、または▼キーで切り替えられます。

2. 数字キー（文字キー）を押してメニューから設定項目を選択します。

選択した項目が反転表示になりサブメニューが現れます。

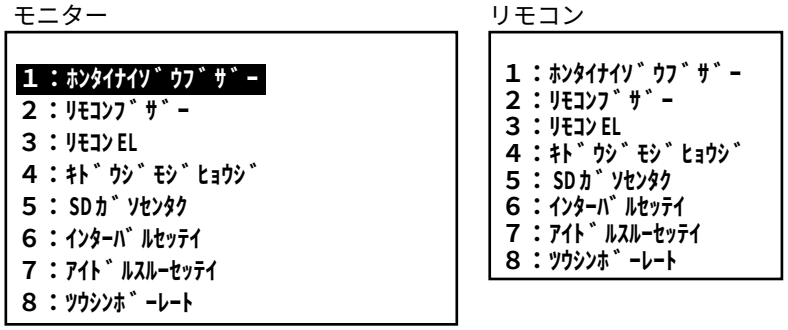
一つ前のメニュー画面に戻るには［**メニュー**］キーを押します。



3. 数字キーを押して、サブメニューからさらにサブメニューを選択します。

選択した項目が反転表示になり、さらにサブメニューが現れます。

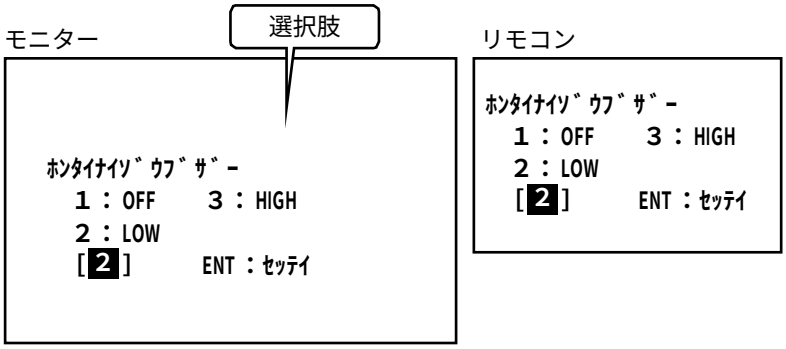
設定を変更せずにサブメニューに戻るには［**メニュー**］キーを押します。



4. 数字キーを押してサブメニューから設定項目を選択します。

選択した項目が反転表示になり、選択肢が現れます。

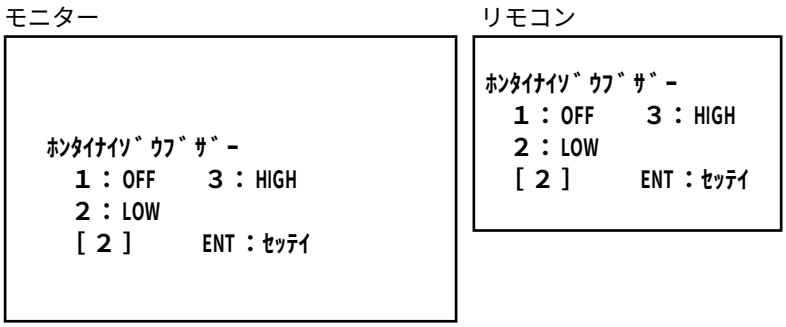
設定を変更せずにサブメニューに戻るには［**メニュー**］キーを押します。



5. 設定値を数字キーで選択し、［**停止/ENT**］キーを押して確定します。

設定を変更せずにサブメニューに戻るには［**メニュー**］キーを押します。

トップメニューに戻るには、［**検査終了**］または［**検索終了**］キーを押します。



6. ［**検査終了**］または［**検索終了**］キーを押して設定メニューを終了します。

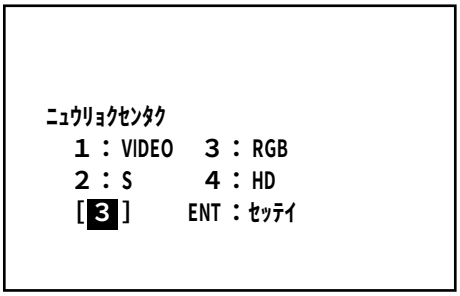
メニュー項目一覧

1. 入力選択 ・・・

入力信号に関わる設定

「1: ニュウリョクセンタク」～「5: RGB シュウタン」では映像入力信号にかかわる設定をします。この設定は検査中に変更できます。

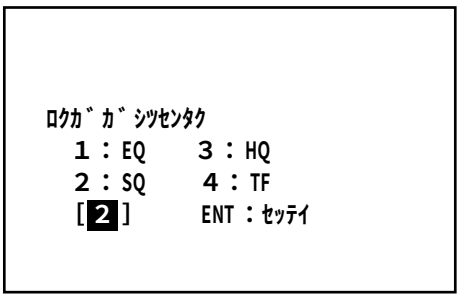
[メニュー] → [1:ニュウリョクセンタク]



※ MV-S10 は 4 の項目はありません。

映像入力信号を VIDEO コンポジット（VIDEO コネクタ）／RGB（RGB コネクタ）／S（S-VIDEO コネクタ）／HD（HD コネクタ又は DVI コネクタ）／から選択します。(出荷時： RGB（ただし、MV-D10 は HD))

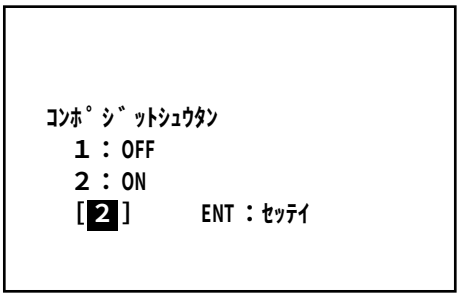
[メニュー] → [2:ロクガガシツ]



※ MV-S10 は 4 の項目はありません。

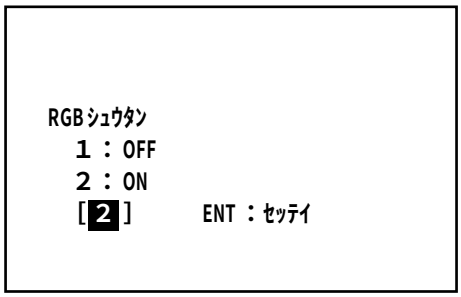
録画画質を EQ（大容量)、SQ（標準画質)、HQ（高画質)、TF（非圧縮/MV-S10 を除く)から選択します。
(出荷時： SQ)
※TF 選択時は画像容量が大きくなり、ディスクに書き込む時間が長くなります。

[メニュー] → [3:コンポジットシュウタン]



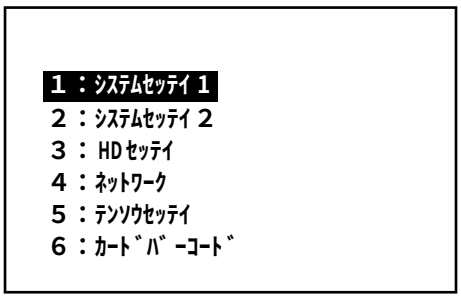
コンポジット（VIDEO）入力コネクタを終端する（ON）か、しない（OFF）かを設定します。(出荷時： ON)

[メニュー] → [4:RGB シュウタン]



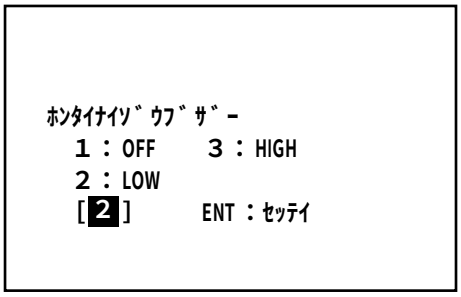
RGB 入力コネクタを終端する（ON）か、しない（OFF）かを設定します。(出荷時： ON)

「5 ：コンフィグレーション」ではリモコンブザーなどにかかわる設定をします。



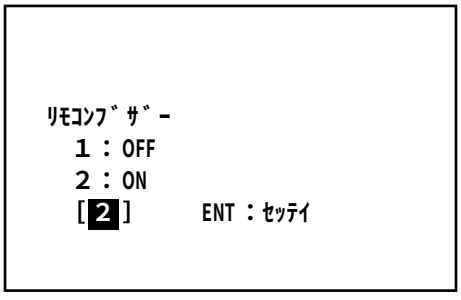
※ MV-S10 は 3 の項目はありません。

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [1:システムセッテイ 1]
→ [1:ホンタイナイゾウブザー]



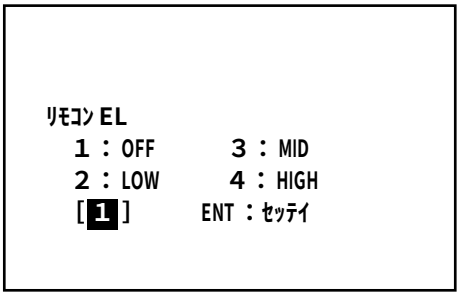
本体内蔵ブザーを鳴らさない（OFF)、音量小（LOW)、音量大（HIGH）を設定します。(出荷時： LOW)

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [1:システムセッテイ 1]
→ [2:リモコンブザー]



リモコンのブザーを鳴らす（ON）か、鳴らさない（OFF）かを設定します。(出荷時： ON)

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [1:システムセッテイ 1]
→ [3:リモコン EL]

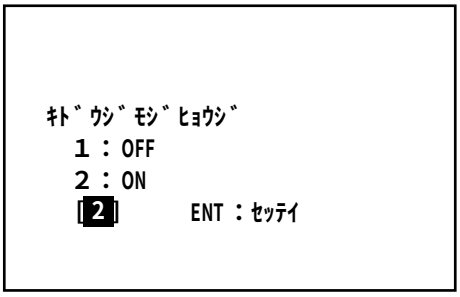


リモコンのキーは暗い所でも操作できるようにほのかに光らせることができます。ここではその明るさを設定します。

OFF ： パネルの明かりをつけません。
LOW ： 明るさを弱く設定します。
MID ： 中位の明るさに設定します。
HIGH ：明るさを強く設定します。
（出荷時： OFF）

. リモコンの照明には寿命があり、使用するにつれて暗くなっていきます。

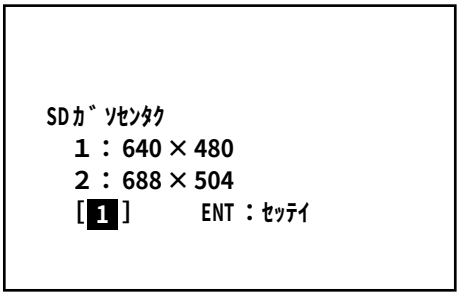
[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [1:システムセッテイ 1]
→ [4:キドウジモジヒョウジ]



モニター画面に表示される日付や動作状態などの文字情報は、［文字表示］キーで表示したり消したりを切り替えられます。この文字情報を、電源投入直後の状態でどう表示するかを設定します。

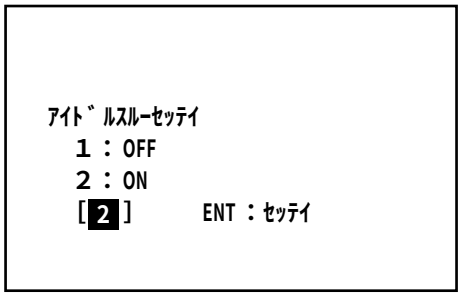
OFF ： 表示しません。
ON ： 表示します。
（出荷時： ON）

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [1:システムセッテイ 1]
→ [5:SD ガソセンタク]



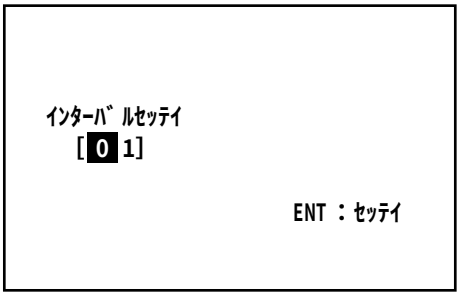
SD 画像の画素を選択します。（出荷時： 640x480）

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [1:システムセッテイ 1]
→ [7:アイドルスルーセッテイ]



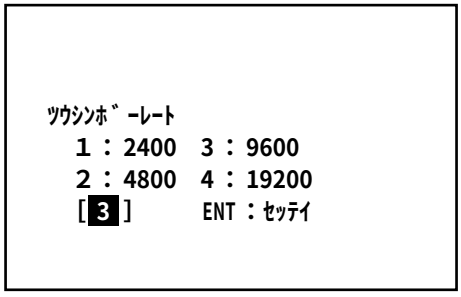
アイドル状態の時に映像出力端子に入力信号を出力する（ON）か、出力せずに黒一色にする（OFF）かを設定します。（出荷時： ON）

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [1:システムセッテイ 1]
→ [6:インターバルセッテイ]



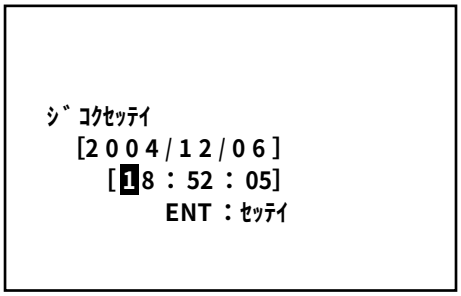
ひとつの画像が終わってから次の画像が始まるまでの間のポーズ時間（0 ～ 99 秒）を設定します。
（出荷時： 01）

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [1:システムセッテイ 1]
→ [8:ツウシンボーレート]



RS-232C コネクタを使って通信する際のボーレートを選択します。この設定は電源を入れ直してから有効になります。（出荷時： 9600 bps）

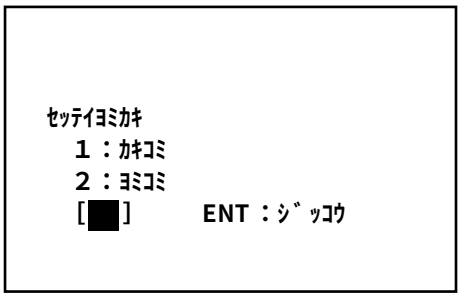
[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [2:システムセッテイ 2]
→ [1:ジコクセッテイ]



内蔵の時計を合わせます。数字キーで日時を直してから、時報に合わせて［停止/ENT］キーを押してください。その瞬間に時計が修正されます。

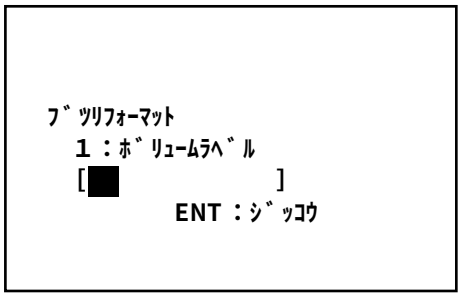
. 本機には内蔵時計を動かすための電池が入っています。この電池の寿命は通常の通電使用状態で約 5 年です。電池が切れると異常な時刻が表示されます。電池の交換はお客さまにはできませんので、当社のサービス部門にご用命ください。

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [2:システムセッテイ 2]
→ [2:セッテイヨミカキ]



本機の設定をディスクに書き出すことができます。そのディスクを他の MV-H10/MV-S10/MV-D10 で読み込むことにより、同じ設定にすることができます。

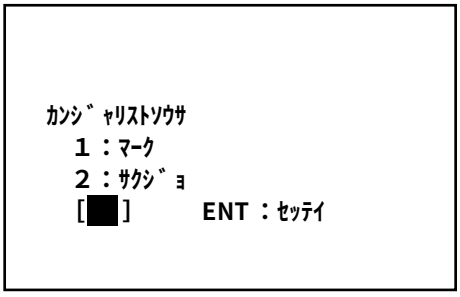
[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [2:システムセッテイ 2]
→ [3:ブツリフォーマット]



エラーが頻発するディスクはこの方式でフォーマットしてみてください。データを完全に消去できますが約１時間かかります。途中で止められませんのでご注意ください。

「ブツリ」方式によるフォーマットが停電などにより中断した場合は、次にそのディスクを入れると ”UNFORMAT DISC ”と表示されます。そのディスクはあらためてフォーマットしないと使えません。
この場合、通常のフォーマットはできませんので、「ブツリフォーマット」を行ってください。

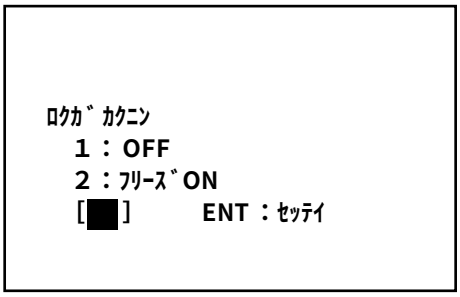
[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [2:システムセッテイ 2]
→ [4:カンジャリストソウサ]



予約患者リスト表示する時に検査済みのＩＤをマーク表示(マーク)するか、表示しない(サクジョ)かを選択します。

※本機能を使用するには専用のＬＡＮ制御プログラムが必要です(MV-S10 は除く)。詳細はお問い合わせ下さい。

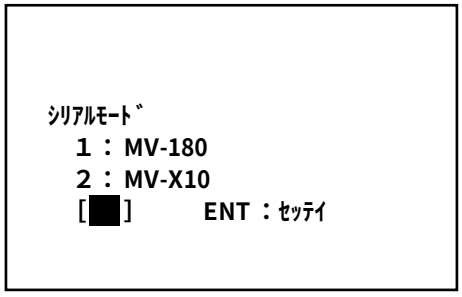
[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [2:システムセッテイ 2]
→ [5:ロクガカクニン]



録画時の確認方法として、画面を長め(約 0.5 秒)にフリーズしたい場合[2:フリーズ ON]を選択します。

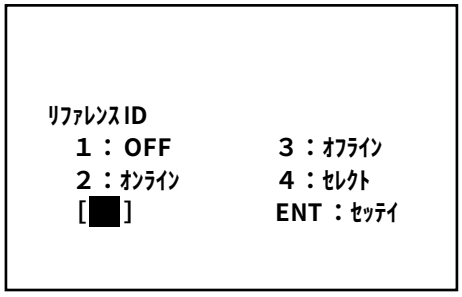
※フリーズ ON にした場合、録画間隔が少し長くなります。この機能が必要なければ OFF でご使用下さい。

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [2:システムセッテイ 2]
→ [6:シリアルモード]



MV-180: MV-180 互換モード通信
MV-X10: MV-H10/S10/D10 専用通信

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [2:システムセッテイ 2]
→ [7:リファレンス ID]



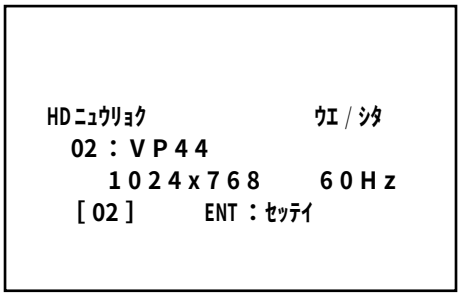
リファレンス ID 機能を使用する場合に
設定します。(出荷時： OFF)

※本機能を使用するには専用のＬＡＮ制御プログラムが必要です(MV-S10 は除く)。詳細はお問い合わせ下さい。

HD 設定（HD セッテイ）[MV-S10 を除く]

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [3:HD セッテイ]
→ [1:HD ニュウリョク]

※MV-D10 は 1 の項目はありません



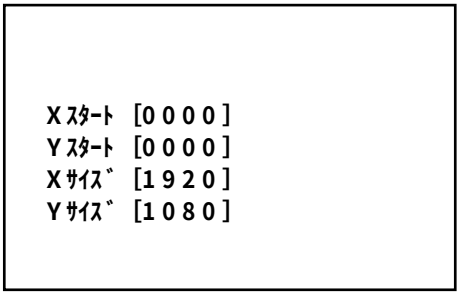
以下から、ＨＤ入力信号種別を選びます。

01:VP44
640x480 60Hz
02:VP44
1024x768 60Hz
03:VP44
1280x960 60Hz
04:CV26
1080i 60Hz
05:CV26
1080i 50Hz
06:JVC-HD
1280x1024 60Hz
07:PC VESA
640x480 60Hz
08:PC VESA
800x600 60Hz
09:PC VESA
1024x768 60Hz
10:PC VESA
1280x1024 60Hz
11:XARIO
800x600 60Hz

選択肢間のページ移動は［▼］/［▲］キーで行い、選択肢の決定は数字キーで入力後［停止／ ENTER］キーで行います。

※02 または 03 に設定すると入力信号を判別して自動的にいずれかの適切な設定に切り替わります。
※MV-D10 の DVI 信号種別は、自動識別です。自動で最適な設定にして収録します。
入力信号種類の切り替えはアイドル中（検査終了状態）に行ってください。検査中に行うと画像が正常に収録できない可能性があります。

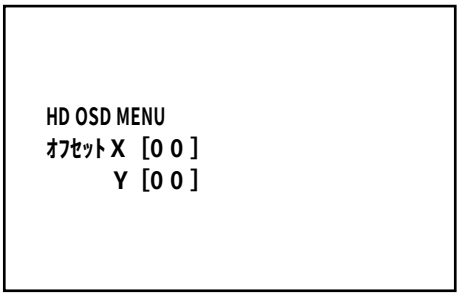
[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [3:HD セッテイ]
→ [2:HD ガゾウサイズ]



※MV-D10 は表示のみ

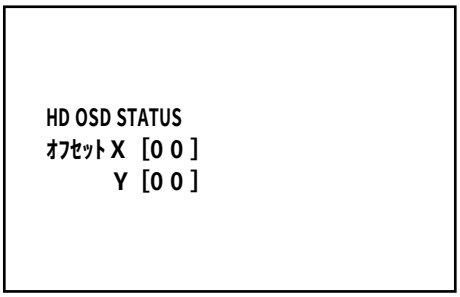
収録画像のサイズ指定が可能です。デフォルト値もしくは適切な値に設定してください。適切に設定しないと画像が乱れる事があります。デフォルト値以外で使用する場合は十分検証（記録・再生）を行って下さい。又、縦サイズは 8 の倍数、横サイズは 32 の倍数にしてください。

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [3:HD セッテイ]
→ [3:HD OSD MENU]



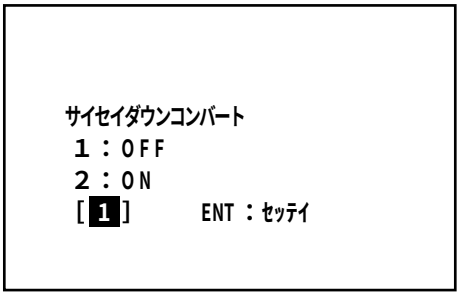
OSD メニュー表示位置を指定できます。デフォルト値もしくは適切な値に設定してください。適切に設定しないと表示されない事があります。

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [3:HD セッテイ]
→ [4:HD OSD STATUS]



OSD ステータス表示位置を指定できます。デフォルト値もしくは適切な値に設定してください。適切に設定しないと表示されない事があります。

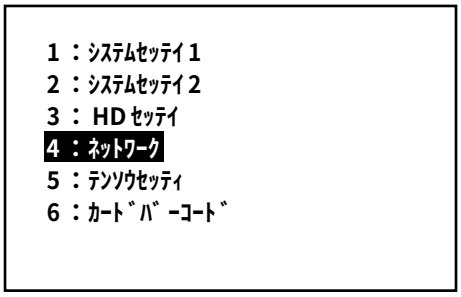
[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [3:HD セッテイ]
→ [5:サイセイダウンコンバート]



HD 再生画像を縮小（ダウンコンバート）して、NTSC 出力端子（RGB、コンポジット、VIDEO、S-VIDEO）に出力します。
ダウンコンバート出力時は “ PLAY(SD) ” と表示されます。全画面再生時のみダウンコンバート出力し、インデックス再生時はダウンコンバート出力しません。インデックス再生画像のダウンコンバート出力が必要な場合は「HD 画像を NTSC 信号に変換し出力する」（29 ページ）をご参照下さい。（出荷時： OFF）
OFF ：ダウンコンバート出力しません。
ON ：ダウンコンバート出力します。

※ON にした場合、再生画像操作（次画像、前画像）が緩慢になります。ダウンコンバート出力が必要でない場合は OFF 設定でご使用下さい。

「4 ：ネットワークセッテイ」および「5 ：テンソウセッテイは画像をネットワーク転送するために必要な設定です。この設定が済むまでネットワークに接続しないでください。



- ●ネットワークの設定・接続についてはネットワーク管理者の指示に従ってください。
- ●転送した画像を PC で受信するには付属ソフト“ ViewFile Lite ”をご利用ください。

. 転送するときはディスクのプロテクトノッチを書き込み許可の方に切り替えてください。転送済みのマークをディスクに記録するためです。書き込み禁止のまま転送しようとすると「LAN ERROR 2」と表示されます。

. 自動転送は録画が終わるたびに行われます。転送中はリモコンの［画像転送］ランプが点灯します。

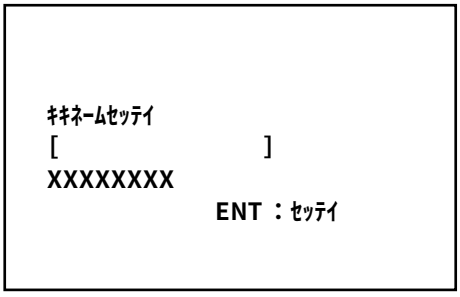
. リモコンの［画像転送］ランプの点灯中に電源を切らないでください。もし電源を切ると転送中の画像はサーバーに保存されません。また、ディスクを破損するおそれがあります。

. 転送を強制的に中止するにはアイドル状態で［画像転送］ボタンを約 2 秒間押してください。

. LAN の障害などのために自動転送できなかった画像は、電源再投入時に自動的に転送されます。

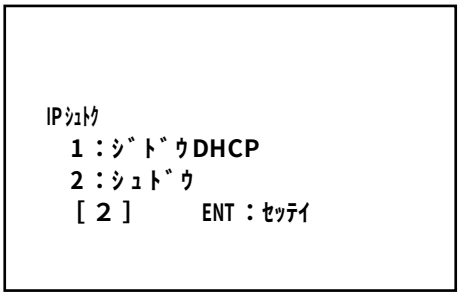
. 電源を入れ直してから有効になります。

［メニュー］
→ ［5:コンフィグレーション］
→ ［4:ネットワーク］
→ ［1:キキネームセッテイ］



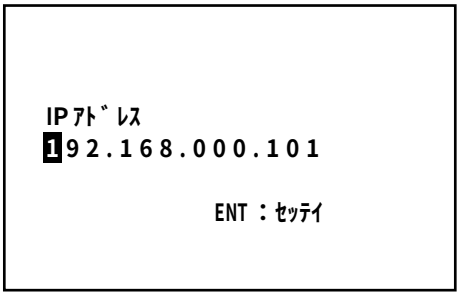
ネットワーク上で使われる名前をつけます。

［メニュー］
→ ［5:コンフィグレーション］
→ ［4:ネットワーク］
→ ［2:IP シュトク］



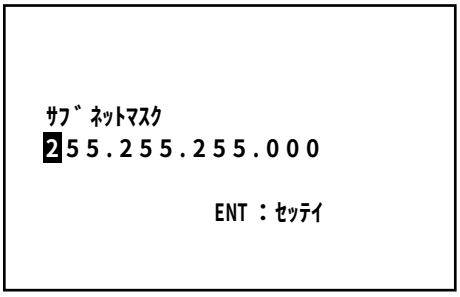
本機の IP アドレスを DHCP サーバーから自動取得する(ｼﾞﾄﾞｳDHCP)か、しない(ｼｭﾄﾞｳ)かの設定をします。1:ｼﾞﾄﾞｳDHCP を選択すると以下の３，４，５の設定は自動取得値の参照になります。

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [4:ネットワーク]
→ [3:IP アドレス]



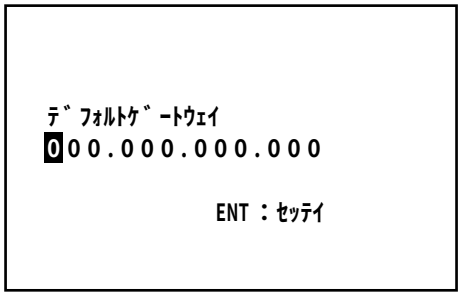
本機の IP アドレスを自動取得しない場合に IP アドレスを設定します。IP アドレスを自動取得した場合、ここには取得したアドレスが表示され、変更できません。（出荷時：上図のとおり）

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [4:ネットワーク]
→ [4:サブネットマスク]



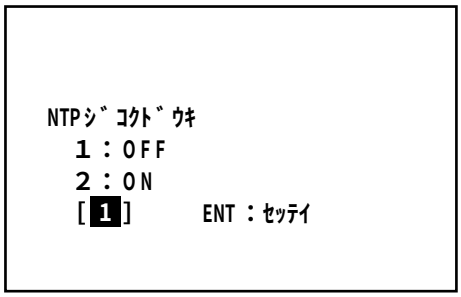
IP アドレスを自動取得しない場合にサブネットマスクを設定します。自動取得した場合、ここには取得したサブネットマスクが表示され、変更できません。（出荷時：上図のとおり）

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [4:ネットワーク]
→ [5:デフォルトゲートウェイ]



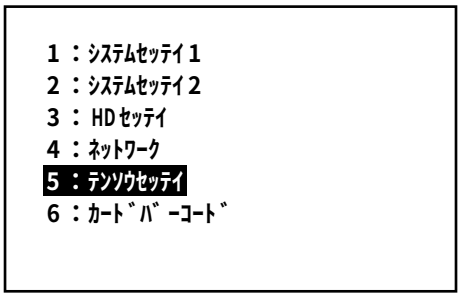
IP アドレスを自動取得しない場合にデフォルトゲートウェイを設定します。自動取得した場合、ここには取得したデフォルトゲートウェイが表示され、変更できません。（出荷時：上図のとおり）

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [4:ネットワーク]
→ [6:NTP ジコクドウキ]

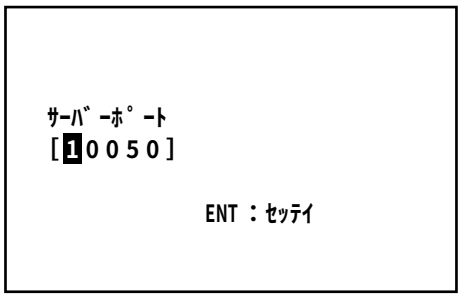


NTP（Network Time Protocol）サーバーに接続する場合に、本機の内蔵時計を NTP サーバーに同期する（ON）か、しない（OFF）かを設定します。時刻同期を行うのは、LAN ケーブルを他の動作している機器に接続した時、および本機の電源投入時です。転送設定（45 ページ）で設定する［サーバーアドレス］を NTP サーバーとみなします。（出荷時： OFF）

「4 ：ネットワークセッテイ」および「5 ：テンソウセッテイ」は画像をネットワーク転送するために必要な設定です。この設定が済むまでネットワークに接続しないでください。

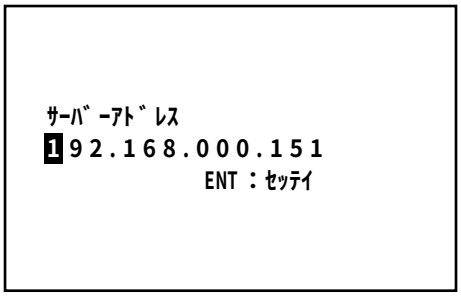


[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [5:テンソウセッテイ]
→ [1:サーバーポート]



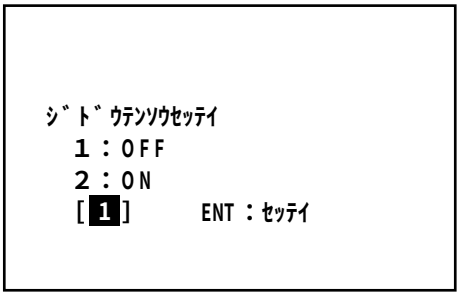
転送先のサーバーのポートを指定します。
（出荷時： 10050）

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [5:テンソウセッテイ]
→ [2:サーバーアドレス]



転送先のサーバーの IP アドレスを設定します。
（出荷時：上図のとおり）

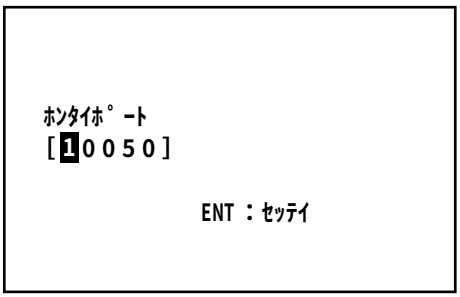
[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [5:テンソウセッテイ]
→ [3:ジドウテンソウセッテイ]



画像ファイルを自動的に転送するか（ON）しないか（OFF）を設定します。（出荷時： OFF）

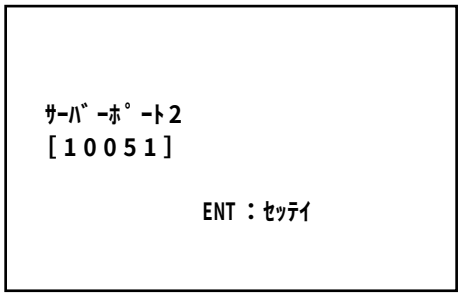
自動転送は録画が終わるたびに行われます。転送中は画像転送 LED が点灯します。

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [5:テンソウセッテイ]
→ [4:ホンタイポート]



本体をネットワークで制御する際に使用するポートを指定します。（出荷時： 10050）

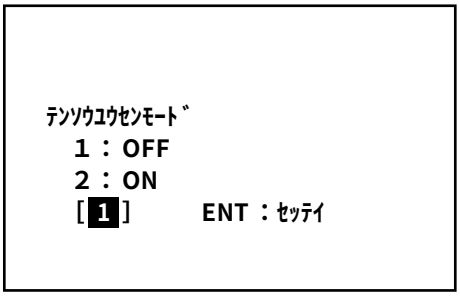
[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [5:テンソウセッテイ]
→ [5:サーバーポート 2]



ネットワーク制御する時に使用する PC 側のポートを指定します。

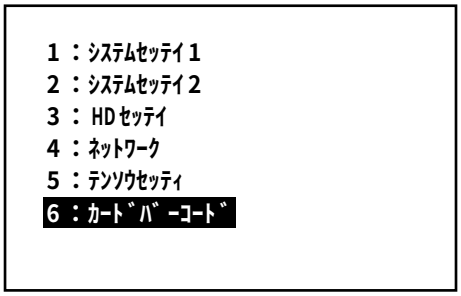
転送設定（テンソウセッテイ）

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [5:テンソウセッテイ]
→ [6:テンソウユウセンモード]

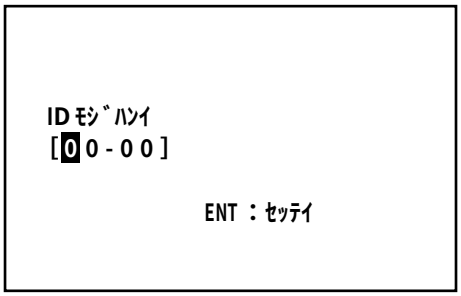


自動転送機能を使用し、かつ画像を PC 上ですぐに確認したい場合に ON 設定にします。
なお、ディスクへの書き込みよりも転送を優先させますので、特に必要の無い場合は OFF 設定でご使用下さい。（出荷時： OFF）

「6 ：カード・バーコード」は磁気カードリーダ／バーコードリーダを使う場合の設定です。磁気カード／バーコードに書かれた情報の何バイト目を読み取るかを設定します。

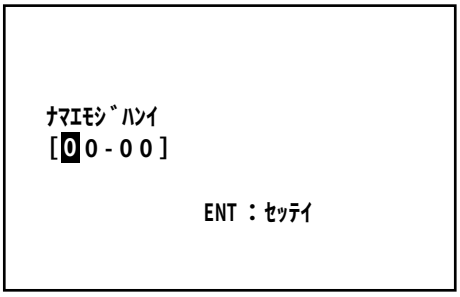


[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [6:カード バーコード]
→ [1:ID モジハンイ]



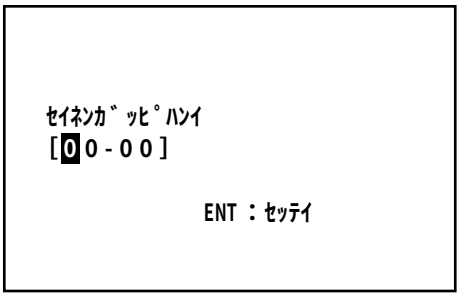
磁気カード／バーコードに書かれた情報の何バイト目から何バイト目までを ID として読み取るかを設定します。最大で 32 文字まで読み込めます。開始位置または終了位置のどちらかを “ 00 ” にすると ID は読み取りません。（出荷時： 00-00）

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [6:カード バーコード]
→ [2:ナマエモジハンイ]



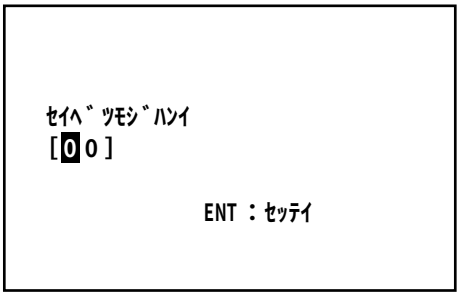
磁気カード／バーコードに書かれた情報の何バイト目から何バイト目までを名前として読み取るかを設定します。最大で 32 文字まで読み込めます。開始位置または終了位置のどちらかを “ 00 ” にすると名前は読み取りません。（出荷時： 00-00）

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [6:カード バーコード]
→ [3:セイネンガッピハンイ]



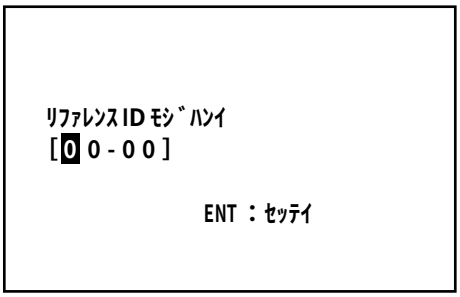
磁気カード／バーコードに書かれた情報の何バイト目から何バイト目までを生年月日として読み取るかを設定します。最大で 12 文字まで読み込めます。開始位置または終了位置のどちらかを “ 00 ” にすると生年月日は読み取りません。（出荷時： 00-00）

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [6:カード バーコード]
→ [4:セイベツモジハンイ]



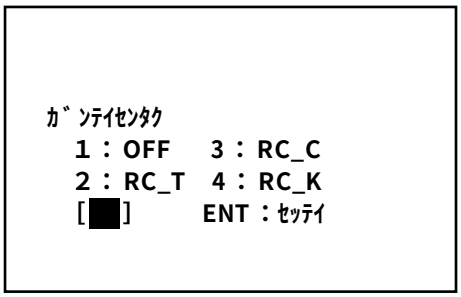
磁気カード／バーコードに書かれた情報の何バイト目（１文字）を性別として読み取るかを設定します。“００”にすると性別は読み取りません。（出荷時： ００）

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [6:カードバーコード]
→ [5:リファレンス ID モジハンイ]



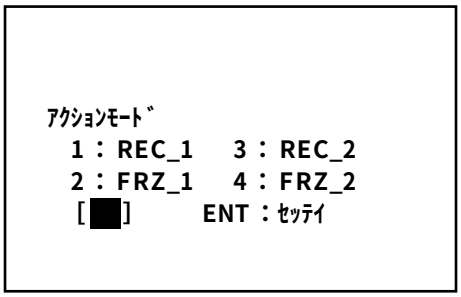
磁気カード／バーコードに書かれた情報の何バイト目から何バイト目までをリファレンス ID として読み取るかを設定します。最大で 16 文字まで読み込めます。開始位置または終了位置のどちらかを“００”にするとリファレンス ID は読み取りません。（出荷時： 00-00）

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [7:ガンテイセッテイ]
→ [1:ガンテイセンタク]



眼底カメラストロボ同期タイミングを選択します。
この設定を行うと文字表示（OSD）が左側に整列します。

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [7:ガンテイセッテイ]
→ [2:アクションモード]



眼底同期モード選択時、録画準備中に外部トリガパルスが入力された時の動作を設定します。

REC_1:パルスが入力されるたびに記録します。録画後はフリーズ状態です。

FRZ_1:パルスが入力されるたびにフリーズします。

REC_2:最初のパルスが入力されると記録し、次のパルスが入力されるまでフリーズを保持します。次のパルスが入力されるとフリーズを解除します。

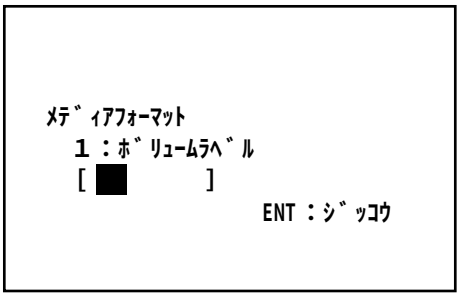
FRZ_2:最初のパルスが入力されるとフリーズし、次のパルスが入力されるとフリーズを解除します。

※ FRZ_1or FRZ_2
収録はリモコンの録画キーで行います。画像を確認し OK なら収録するモードです。

フォーマットの操作

「0: メディアフォーマット」ではボリュームラベルの入力とフォーマットの実行を行います。［停止/ENT］キーでフォーマットを実行します。

［メニュー］→「0:メディアフォーマット」



必要に応じて、ボリュームラベル（8 文字まで）を入力します。

注 意

- フォーマットを行うと、未転送の画像を含めてディスク内のすべての画像が消えます。
- 画像の転送中にフォーマットを行うと、画像の途中までしか転送されずに転送エラーとなりますが、フォーマットは正常に終了します。

文字の入力のしかた

文字を入力するには、[文字切替] キーで “ **英** ” (アルファベット)、“ **カナ** ” (カタカナ)、“ **数** ” (数字) を切り替え、入力したい文字キーを押します。

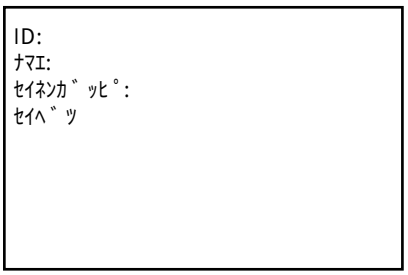
例：名前に「マツダ゛」と入力する

1. [▼] キーを押してカーソルを２行目に移動します。

[停止/ENT] キーでもカーソルは下の行に移動します。

2. [文字切替] キーを押して “ カナ ” を点灯させます。

3. [7] (マ) キーを１回押します。



モニター

4. [4] キーを３回押します。 **「マツ」**

5. [▶]キーを１回押します。 **「マツ_」**

(「ツ」と「タ」は同じキーに割り当てられています。“ 英 ” モード、“ カナ ” モードの場合、同じキーに割り当てられた文字を続けて入力するには、[▶] キーを押してカーソルを右に移動します。)

6. [4] キーを１回押します。 **「マツタ」**

7. [゛]キー ([7] キーの下) を１回押します。 **「マツダ゛_」**

入力した文字を訂正するには

[◀] キー、[▶]キーを押してカーソルを訂正したい文字に移動し、正しい文字を入力し直します。

すべての文字を消すには

[入力クリア] キーをしばらく押し続けると、その行に入力した文字がすべて消えます。([入力クリア] キーをポンと押すと、１文字だけが消えます。)

■ 入力できる文字数

ID ： 32 文字
名前： 32 文字
生年月日：12 文字
性別： 1 文字

■ 使える文字

“英” モードのとき

押す回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	゛	0	-	(スペース)	*	?
1	A	C	E	G	I	K	M	O	R	T	W	Y	(スペース)	*	?
2	B	D	F	H	J	L	N	P	S	U	X	Z			
3	a	c	e	g	i	k	m	Q	r	V	w	y			
4	b	d	f	h	j	l	n	q	s	t	x	z			
5										u					
6										v					

“カナ” モードのとき

押す回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	゛	0	-	(スペース)	*	?
1	アイウエオ	カキクケコ	サシスセソ	タチツテト	ナニヌネノ	ハヒフヘホ	マミムメモ	ヤユヨ	ラリルレロ	゛	ワヲン	゜	(スペース)	*	?
2	ァィゥェォ			ッ				ャュョ							
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															

“数” モードのとき

1	2	3	4	5	6	7	8	9	゛	0	-	(スペース)	*	?
1	2	3	4	5	6	7	8	9	(無効)	0	(記号・下記参照)	(スペース)	*	?

●“ 数 ” モードのときの “ ー ” (ハイフン) キーは押すたびにつぎのような記号を入力できます。

－＋＝／＄！％＆＃@.，：；（）[]’

●カタカナの長音 “ ー ” を入力するには、“ 数 ” モードに切り替えて “ ー ” (ハイフン) を押してください。

●“ ＊ ” と “ ？ ” は ID には使えません。

●ディスクのボリュームラベルには、入力できない文字があります

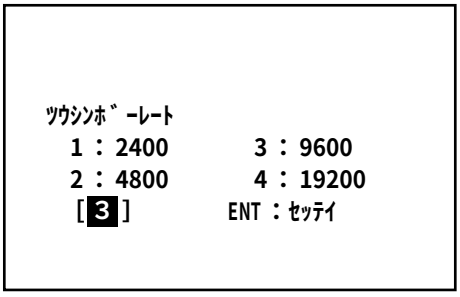
VP-4400/EPX-2200 と接続する

VP-4400/EPX-2200 と接続する

VP-4400/EPX-2200 と本機を RS-232C 接続することで、VP-4400/EPX-2200 と患者情報の同期、VP-4400/EPX-2200 からの画像取り込みが可能です。

通信ボーレート設定をする

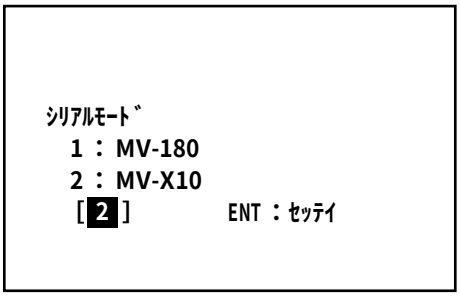
[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [1:システムセッテイ 1]
→ [8:ツウシンボーレート]



VP-4400 ： 9600bps
EPX-2200 ： 4800bps
この設定は電源を入れなおしてから有効になります。

シリアルモード設定をする

[メニュー]
→ [5:コンフィグレーション]
→ [2:システムセッテイ 2]
→ [6:シリアルモード]



MV-180 ：患者 ID を同期させることができます。
（MV-180 は VP-4400 のみで選択できます。）
MV-X10 ： VP-4400/EPX-2200 と患者名、患者 ID、生年月日、性別を同期させることができます。

※ VP-4400/EPX-2200 側のシリアルモードの設定も必要になります。本機と VP-4400/EPX-2200 のシリアルモードは同じものを選択する必要があります。VP-4400/EPX-2200 設定方法は各取扱説明書を確認してください。
MV-X10 での通信には VP-4400 の Main CPU のバージョンが ver1.1998 以上、EPX-2200 の Main CPU バージョンが ver 3.400 以上である必要があります。

注 意

- VP-4400/EPX-2200 との通信は本機がアイドル状態であることを確認して、VP-4400/EPX-2200 の電源を入れてください。本機の電源を後から入れると制御が正常に行われません。
- VP-4400/EPX-2200 と RS-232C 通信時は本機リモコンはロックされます。リモコンロック中に画像閲覧、ディスク交換を行う場合はリモコン検査終了ボタンを押してください。
- 検査中にリモコンロックの解除、ディスク交換を行うと以降の記録で患者情報が反映されません。患者情報の反映には、VP-4400/EPX-2200 で再度患者情報を入力する必要があります。患者情報の入力は VP-4400/EPX-2200 の各取扱説明書を確認してください。

ブザー仕様

イベント	ピープ音	詳細内容
起動時	ピッピッ	正常起動時
リモコン操作	ピッ	リモコン操作を行った時
録画時	ピー（少し長い）	録画動作を開始した時
警告音	ピッピッピッ	現状態では指示された動作ができない時
	ピッピッピッピッピッピッ	ID 入力が無い状態で、外部録画命令を受けて録画した時 検査開始時１度だけ鳴ります。 この時 ID は「$YYYYMMDDHHMMSS」となります。 (YYYY:年、MM:月、DD:日、HH:時、MM:分、SS:秒)

メンテナンスと保証

エラー（ERROR）表示が出たら

モニターおよびリモコンにエラーメッセージが表示されたときは、つぎのように対処して下さい。

表示	内容	対処
REC ERROR1	ディスク書き込みエラー	・ディスク交換又はクリーニング ・ドライブクリーニング ・修理（サービス部門へ）
REC ERROR2	画像圧縮エラー	・修理（サービス部門へ）
REC ERROR3	高精細画像キャプチャエラー	・修理（サービス部門へ）
REC ERROR4	画像転送ハードウェアエラー	・修理（サービス部門へ）
SEARCH ERROR1	画像伸張エラー	・再生画像が壊れています
SEARCH ERROR2	画像再生転送ハードウェアエラー	・修理（サービス部門へ）
SEARCH ERROR3	ディスク読み出しエラー	・ディスク交換又はクリーニング ・ドライブクリーニング ・修理（サービス部門へ）
SEARCH ERROR4	高精細画像再生時に高精細ハードウェアが無い	・ MV-S10 では再生できません ・修理（MV-H10/D10）
DISC TROUBLE	正常ローディングできない 管理ファイルが壊れている	・追加記録はできません 再生専用ディスクとしてご使用下さい
SYNC ERROR	指定入力にビデオ信号がない	・ビデオ信号と入力設定をご確認下さい
SUFFIX FULL	検査内画像数が MAX(500)になった	・検査終了し、次の検査を開始して下さい
EXAM FULL	ディスク内検査数が MAX(9999)になった	・ディスク交換
MEMORY FULL	収録用バッファメモリが一杯で録画できない	・メモリ上のデータがディスクに書かれるまで少し待って下さい(5 秒程度)
DISC CHANGE	ディスク交換条件（残容量約 400MB 以下）になった	・ディスク交換
DISC FULL	ディスクフル条件（残容量約 60MB 以下）になった	・ディスク交換
PROTECT DISC	書込み保護ディスク	・録画する場合は、書込み保護を解除して下さい
UNSUPPORT DISC	DVD-RAM ディスクではない 又はカートリッジ付き DVD-RAM ディスクではない	・カートリッジ付き DVD-RAM ディスクを挿入して下さい
UNFORMAT DISC	フォーマットされていない。又は管理データが壊れて読み取れない	・データが必要ない場合はフォーマットを実行して下さい
NO DISC	ディスクが挿入されていない	・ディスクを入れて下さい
	ディスクやドライブが汚れていて読み取れない	・ディスククリーニング ・ドライブクリーニング
	ドライブ故障	・修理（サービス部門へ）
LAN ERROR	ネットワーク通信時に異常があった 又は NTP 時刻同期（44 ページ）が ON の場合は NTP サーバとの通信時に異常があった	・ネットワーク接続をご確認下さい

点検のすすめ

毎日の使用前に点検を行ってください。故障の早期発見に役立ち、トラブルを未然に防ぎます。

点検項目

- ●電源ケーブルは正しく接続されていますか？
- ●アース線は正しく接続されていますか？
- ●リモートコントロールユニットは正しく接続されていますか？
- ●各種コネクタは正しく接続されていますか？（特に周辺装置を使用する場合）

●装置の機能保持、安全性の向上のために定期的に点検を受けることをおすすめします。定期点検を含む各種の保守点検・保守契約などについては、最寄りの弊社営業所または弊社サービス部門にご相談ください。

本体、リモコンのクリーニング

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

トップカバーやパネル面が汚れた場合は、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を痛める原因となります。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを痛めることがありますので避けてください。

故障かなと思ったら

つぎのような場合には修理をご依頼になる前に、もう一度チェックしてください。

【電源が入らない】

電源ケーブルの接続を確認してください。（コンセントから抜けていないか、コンセントに正しく接続されているかなど）

【電源は入るが画像が何も出ない】

本体リアパネルのコネクタが抜けていないか、使用しているケーブルが断線していないかを確認してください。
入力が正しく選択されているかご確認ください。
EE スルーが ON になっているかご確認ください。

【リモートコントロールで操作できない】

リモコンケーブルのコネクタが正しく接続されているかを確認してください。

【画像のコントラストが明る過ぎる、または暗過ぎる】

コンポジットシュウタンおよび RGB シュウタンが正しく設定されているかを確認してください。

保証について

●本装置の保証期間は、購入日から 1 年間です。

●次のような場合には、保証期間中であっても有償修理となりますのであらかじめ了承ください。
（1）誤使用による故障、又は損傷
（2）弊社、又は弊社の指定のサービスマン以外による改造、及び修理による故障、又は損傷
（3）納品後の落下、輸送などによる故障、又は損傷
（4）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障、又は損傷
（5）電源、設置環境条件などの、本製品の使用条件を逸脱した外部要因による故障、又は損傷
（6）弊社、及び弊社指定の代理店以外から購入された場合の故障、又は損傷
（7）弊社指定以外のディスクを使用した場合の装置の故障、又は損傷

●保証期間終了後のアフターサービスについては、有償にてお受け致しますので最寄りの弊社営業所または弊社サービス部門にご相談ください。

●弊社指定以外のディスクを使用した場合、正しくデータが記録できない場合があります。必ず弊社指定のディスクをご使用ください。
指定ディスク：
パナソニック製　DVD-RAM ディスク（カートリッジタイプ）

●本装置を運用した結果、及びデータに基づく二次的な損害につきましては、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

●誤操作や突発的な事故などによる本装置に記憶されたデータの消去につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

廃棄するときは

本製品ならびに付属品、消耗品等を廃棄する際は、それぞれの自治体の規制に従って廃棄してください。

仕　様

■ 一般仕様

使用ディスク　：DVD-RAM
記録枚数（4.7 GB の場合）：

圧縮モード	記録枚数（枚）	圧縮率
大容量	約 40,000	約 1/10
標準画質	約 20,000	約 1/5
高画質	約 12,000	約 1/3
非圧縮（MV-S10 を除く）	約 4,000	1/1

※記録枚数は、弊社評価画像による

制御　：付属リモートコントロールユニット VS-430 による制御
動作姿勢　：水平
電源　：AC100 V ± 10%　50/60 Hz　0.9A
動作温湿度範囲　：5 ～ 35˚C　30 ～ 80%RH（非結露）
最大湿球温度 29 ℃以下
保存温湿度範囲　：−10 ～ 60˚C　30 ～ 90%RH（非結露）
最大湿球温度 29 ℃以下
外形寸法
本体　：約 215W × 88H × 334D（mm）
[突起物除く]
リモコン　：約 96W × 30H × 205D（mm）
[突起物除く]
質量（本体）　：MV-H10　約 4.7 kg
：MV-S10　約 4.5 kg
：MV-D10　約 4.7 kg
（リモコン）：約 380 g
規格
安全規格　：JIS T 0601-1:1999
JIS T 0601-1:1999 電撃に対する保護の形式「クラスⅠ機器」
電気用品安全法
電磁両立性　：JIS T 0601-1-2:1993

■ ビデオ仕様

記録信号　：30 フレーム/秒　525 ライン
（NTSC 準拠テレビジョン信号）
又は、高解像度ビデオ信号
NTSC 映像入力
コンポジット　：1.0 Vpp　75 Ω終端
S-ビデオ　（Y）　：1.0 Vpp　75 Ω終端
（C）　：0.286 Vpp　75 Ω終端
（カラーバースト）
RGB　R.G.B　：0.714 Vpp　75 Ω終端
コンポジットシンク　：0.3 Vpp ～ 4 Vpp　75 Ω終端（負極性）
NTSC 映像出力
コンポジット　：1.0 Vpp　75 Ω終端
S-ビデオ　（Y）　：1.0 Vpp　75 Ω終端
（C）　：0.286 Vpp　75 Ω終端
（カラーバースト）
RGB　R.G.B　：0.714 Vpp　75 Ω終端
コンポジットシンク　：4 Vpp　75 Ω終端（負極性）
NTSC コネクタ　：BNC（コンポジット入出力）
S コネクタ（S-ビデオ入出力）
D-Sub 15 ピン（RGB 入出力）
[ミニチュア型]
HD 映像入力（MV-H10 のみ）
RGB　R.G.B　：0.7Vpp　75 Ω終端
RGB（シンク付）R.G.B　：1.0Vpp　75 Ω終端
HD,VD　：TTL レベル（正極性または負極性）
ハイインピーダンス受け
HD 映像出力（MV-H10 のみ）
RGB　R.G.B　：0.7Vpp　75 Ω終端
RGB（シンク付）R.G.B　：1.0Vpp　75 Ω終端
HD,VD　：TTL レベル（正極性または負極性）
SYNC　：4Vpp　75 Ω終端（負極性）
HD コネクタ（MV-H10 のみ）
：BNC（R.G.B,HD,VD 入出力）
DVI コネクタ（MV-D10 のみ）
：DVI-D（デジタル入出力）
映像データ処理
画像非圧縮方式　：TIFF
画像圧縮方式　：JPEG
標本化周波数　：12.27 MHz ～ 110MHz
量子化ビット数　：R.G.B 各 8 ビット/サンプル
圧縮/伸長方式　：DCT+ ハフマン符号化

コネクタのピン配列

■ S-VIDEO INPUT/OUTPUT

端子番号	信号名
1	GND
2	GND
3	S-Y
4	S-C

■ ANALOG RGB INPUT/OUTPUT

端子番号	信 号 名	RGB ケーブルの色
1	R	赤
2	G	緑
3	B	青
4	---	
5	GND	
6	R-GND	
7	G-GND	
8	B-GND	
9	---	
10	GND	
11	---	
12	---	
13	COMP-SYNC	白
14	---	
15	---	

■ RS-232C

端子番号	信号名
1	---
2	TXD
3	RXD
4	DSR
5	GND
6	DTR
7	CTS
8	RTS
9	---

●TXD, RXD, RTS, CTS, DTR, DSR の入出力仕様は、EIA RS-232C に準拠しています。

■ REMOTE

端子番号	信号名
1	---
2	+12 V
3	---
4	GND
5	---
6	TXD
7	GND
8	RXD

●リモートコントロールユニット（VS-430）を接続するためのコネクタです。

●TXD、RXD の入出力仕様は EIA RS-232C に準拠しています。

●2 番ピンの +12 V は通常は結線しないでください。

保　証　書

型名※	MV-H10 ・ MV-S10 ・ MV-D10
シリアル	No.
保証期間	お買上げから１年
お買上げ日	年　　月　　日
貴社名	

※御使用の型名に○印を御記入下さい。

本保証書は、この取扱説明書に記載の保証規定に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げ日から保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、本製品の取扱店、または当社サービス部門に修理をご依頼ください。

取扱店

■ ユーザー登録のおすすめ ■

登録いただいたお客様には本製品のサポートについての情報や新製品などの情報をお知らせいたします。
登録いただくにはつぎの３つの方法があります。

●オンライン登録

下記ウェブサイトにアクセスしていただき、登録してください。（URL ： http://www.teac.co.jp/ipd/）

●ファックスによる登録

上の「保証書」と右の「ユーザー登録記入欄」に必要事項を記入いただき、このページをコピーしてファックスしてください。（FAX ： 042-356-9185）

●郵送による登録

上の「保証書」と右の「ユーザー登録記入欄」に必要事項を記入いただき、このページをコピーして郵送してください。

宛先：〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47
ティアック株式会社
情報機器事業部　BS ビジネスユニット
営業部 MV 営業課

〈ユーザー登録記入欄〉

ご 所 属	
担当者名	
ご 住 所	〒
TEL	
FAX	
E-mail	
	E-mail による情報提供　□ 希望しない
ご使用機種型名　MV-H10 ・ MV-S10 ・ MV-D10	
ご意見	

ティアック株式会社

製品に関するお問い合わせは･･･	情報機器事業部　BS ビジネスユニット 営業部 MV 営業課	〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47 TEL 042-356-9160　FAX 042-356-9185
修理に関するお問い合わせは･･･	MTS 株式会社 情報サービス部	〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡 2-2-7 TEL 042-556-2335　FAX 042-556-2521
TEAC 情報機器関連ホームページ E-mail	http://www.teac.co.jp/ipd/ ipd-mv@teac.co.jp	

0712 D00819403C

MEMO